

# P-smart ケータイ P-01J

ISSUE DATE:

16.10

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

<sup>NTT</sup>  
docomo

## はじめに

「P-01J」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

### 操作説明

P-01Jの操作は、以下の方法で説明しています。

#### ■「クイックスタートガイド」(本体付属品)

基本的な機能の操作について説明しています。

#### ■「取扱説明書」(本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

 ツール ▶ 取扱説明書

#### ■「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

ドコモのホームページでダウンロード

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/p01j/index.html>

※最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

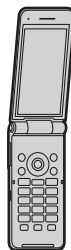
### 本書のご使用にあたって

- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「P-01J」を「本端末」または「端末」と表記しております。
- 本書では、主に本体色「ホワイト」の画面で記載しています。
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。
- 本書ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカードについてはP.111参照。
- 本端末の設定を変更している場合などは、本書に記載している手順や説明と異なる場合があります。

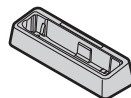
本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。  
本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

## 本体付属品

#### ■P-01J本体(保証書付き)



#### ■卓上ホルダ P56



#### ■クイックスタートガイド



#### ■リアカバー P64



#### ■電池パック P33



本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。

<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

# 目次／注意事項

## 目次


目次／注意事項.....	1
目次.....	1
本端末のご利用について.....	3
安全上のご注意(必ずお守りください).....	4
取り扱い上のご注意.....	14
防水／防塵性能.....	19
<b>ご使用前の確認と設定.....</b>	<b>25</b>
各部の名称と機能.....	25
ワンタッチオープン.....	27
基本操作.....	28
ドコモnanoUIMカード.....	35
電池パック.....	37
充電.....	38
電源を入れる／切る.....	40
文字入力.....	41
初期設定.....	44
ショートカット.....	45
マルチタスク.....	46
<b>電話.....</b>	<b>47</b>
電話をかける.....	47
電話を受ける.....	49
通話中の操作.....	50
リダイヤル／着信履歴.....	51
伝言メモ／音声メモ.....	52
発着信・通話設定.....	53
電話帳.....	55
<b>メール／ウェブブラウザ.....</b>	<b>59</b>
ドコモメール.....	59
SMS.....	61
ウェブブラウザ.....	63

<b>カメラ.....</b>	<b>66</b>
カメラをご利用になる前に.....	66
静止画の撮影.....	68
動画の撮影.....	68
撮影の設定.....	69
バーコードリーダー.....	69
<b>ツール／アプリ.....</b>	<b>71</b>
みまもりメール.....	71
ワンセグ.....	73
ミュージック.....	75
おサイフケータイ.....	78
i コンシェル.....	80
P-SQUARE.....	80
i チャネル.....	81
地図.....	81
電卓.....	82
アラーム.....	82
スケジュール.....	83
メモ.....	85
LINE.....	86
歩数計.....	87
ボイスレコーダー.....	88
世界時計.....	89
タイマー.....	89
ストップウォッチ.....	90
トルカ.....	90
データ引き継ぎ.....	91
SDカードバックアップ.....	91
ケータイデータお預かりサービス.....	93
取扱説明書.....	93

<b>本体設定</b> .....	<b>94</b>	<b>付録／索引</b> .....	<b>130</b>
画面・ディスプレイ .....	94	メニュー一覧 .....	130
音／バイブ／マナー .....	95	トラブルシューティング(FAQ) .....	133
照明・イルミネーション .....	96	保証とアフターサービス .....	139
文字表示／入力 .....	97	ソフトウェア更新 .....	141
時計 .....	98	主な仕様 .....	145
ロック・セキュリティ .....	99	携帯電話機の比吸収率(SAR) .....	148
電池 .....	102	Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones .....	149
外部接続 .....	102	European RF Exposure Information .....	150
通信・ネットワーク .....	105	CE Declaration of Conformity .....	150
ドコモサービス .....	107	FCC Notice .....	150
その他設定 .....	107	FCC RF Exposure Information .....	151
<b>データ管理</b> .....	<b>111</b>	Important Safety Information .....	152
本体メモリ(内部ストレージ) .....	111	輸出管理規制 .....	152
microSDカード(外部ストレージ) .....	111	知的財産権 .....	153
ファイルの操作 .....	113	SIMロック解除 .....	155
パソコンとの接続 .....	114	索引 .....	156
<b>データ通信</b> .....	<b>116</b>	マナーもいっしょに携帯しましょう .....	160
赤外線通信 .....	116		
Bluetooth通信 .....	118		
<b>安心・安全サービス</b> .....	<b>121</b>		
災害用伝言板 .....	121		
災害用音声お届けサービス .....	121		
緊急速報「エリアメール」 .....	122		
あんしんモード .....	123		
<b>海外利用</b> .....	<b>124</b>		
国際ローミング(WORLD WING)の概要 .....	124		
海外で利用可能なサービス .....	124		
海外でご利用になる前の確認事項 .....	125		
海外で利用するための設定 .....	125		
滞在先で電話をかける／受ける .....	126		
国際ローミングの設定 .....	128		
帰国後の確認 .....	129		

## 本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容(電話帳、スケジュール、メモ、伝言メモ、音声メモなど)は、定期的にメモをとったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。




- microSDカードや本体の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなる場合があります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末は i モードのサイト(番組)への接続、i アプリなどには対応しておりません。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- お客様の電話番号(自局番号)は、「プロフィール」でご確認いただけます。
- 公共モード(ドライブモード)には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声(カメラのシャッター音など)は消音されません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。(P.141参照)
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについてはP.110参照。
- 紛失に備え、画面のロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。(P.100参照)
- 万が一紛失した場合は、SNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

■ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。






	<b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(*1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	<b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(*1)を負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷(*2)を負う可能性が想定される場合および物的損害(*3)の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて〈共通〉	P.5
本端末の取り扱いについて	P.7
電池パックの取り扱いについて	P.9
アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて	P.10
ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて	P.12
医用電気機器近くでの取り扱いについて	P.12
材質一覧	P.13

**本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ nanoUIMカードの取り扱いについて〈共通〉**

**⚠ 危険**



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。  
防水・防塵性能については以下をご参照ください。  
⇒P.19「防水／防塵性能」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。  
防水性能については以下をご参照ください。  
⇒P.19「防水／防塵性能」



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。  
防水性能については以下をご参照ください。  
⇒P.19「防水／防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。  
防水性能については以下をご参照ください。  
⇒P.19「防水／防塵性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

**⚠ 警告**



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(おサイフケータイをロックしている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
- ・本端末の電源を切る。
- ・電池パックを本端末から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

## 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイブレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

⇒P.19「防水／防塵性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。



## 本端末の取り扱いについて

### 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。  
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。  
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。  
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

### 警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。  
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。



禁止

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。  
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。  
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードやmicroSDカード挿入部に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。  
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。  
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。  
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。  
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。  
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。  
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。  
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

## ⚠ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを外したまま使用しないでください。

やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

人や周囲の物の近く、または顔を近づけて、ワンブッシュオープンで本端末を開かないでください。

本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

⇒P.13「材質一覧」



指示

本端末を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。

けがなどの原因となります。



指示

本端末のスピーカー、受話口部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

## 電池パックの取り扱いについて



### 危険



禁止

金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確認してください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。

電池パック内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

## 警告



禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

## 注意



禁止

電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診察を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただき、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

## アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

### 警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリースocketにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。  
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V

(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V

(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

DCアダプタ: DC12V・24V(マイナスアース車専用)



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほごりは、拭き取ってください。

ほごりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリースocketに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリースocketから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

## ⚠ 注意



禁止

コンセントやアクセサリースOCKETにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

## ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

### ⚠ 注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。けがなどの原因となります。

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

### ⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## 材質一覧

### ■P-01J本体・リアカバー P64・電池パック P33

使用箇所		材質／表面処理
アンテナプレート	電池面	ABS
外装ケース	ディスプレイ面、電池面	PC／UV塗装
外部接続端子		ステンレス鋼／ニッケルメッキ、スズメッキ
外部接続端子カバー	取り付けピン部	ポリエステル系エラストマー
	バックン	シリコンゴム
	本体	PC／UV塗装
カメラレンズ部パネル、ディスプレイパネル、背面ディスプレイパネル		PMMA／ハードコート
充電端子		黄銅／ニッケルメッキ、ニッケルパラジウムメッキ、金メッキ
ダイヤルボタン面のボタン部、シート部、突起部		アクリルウレタン
電池収納面		ガラスエポキシ／金メッキ

使用箇所		材質／表面処理
電池端子	樹脂部分	LCP
	端子部	チタン銅合金／ニッケルメッキ、金メッキ
電池端子周辺部、マナーボタン(サイドボタン)		ABS
電池パック	樹脂部分	PC
	水没シール	PET
	端子部	ガラスエポキシ／ニッケルメッキ、金メッキ
	ラベル	PET／UV塗装
ドコモnanoUIMカードトレイ		POM
ネジ		鉄／3価クロメート
ヒンジ部	ディスプレイ面側中央部分、ヒンジ受け部分、両端部分	PC／UV塗装
	背面ディスプレイ面側中央部分	ABS／UV塗装
ラベル(電池収納面)		PET
リアカバー	バックン	シリコンゴム
	本体	PC／UV塗装
ワンタッチオープンボタン		PC
microSDカード挿入部	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	樹脂部分	LCP

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース	ABS
外部接続端子	ステンレス鋼／ニッケルメッキ、スズメッキ
クッション	ウレタン
充電端子	りん青銅／ニッケルメッキ、金メッキ
ラベル	PP合成紙／PET
レバー	POM

## 取り扱い上のご注意

### 共通のお願い

- P-01Jは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。



- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。指定のオプション品以外を使用した場合、破損、故障の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障、破損の原因となります。

## 本端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。  
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。  
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、本端末を閉じないでください。  
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。  
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。  
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。  
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

- ディスプレイやボタンのある面に、極端に厚みのあるシールやラベルなどを貼らないでください。  
本端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。  
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。  
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。  
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

## 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。  
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。本端末が電池パックの膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
  - 電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。  
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示:Li-ion 00

電池の種類:リチウムイオン電池

### アダプタ、卓上ホルダについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度(5℃~35℃)の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。

故障の原因となります。

### ドコモnanoUIMカードについてのお願い

■ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

■お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録された情報は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。

万が一登録された情報が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障の原因となります。

■ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。

故障の原因となります。

■ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。

故障の原因となります。

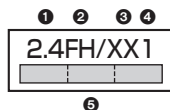
### Bluetooth®機能を利用する場合のお願い


■本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。

■Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ XX: 変調方式がその他の方式であることを示します。
- ④ 1: 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ⑤ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によってはBluetoothの利用が制限されている場合があります。その国/地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

## ■Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

## 無線LAN(WLAN)についてのお願い

■無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

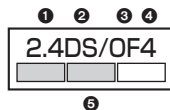
## ■無線LANについて

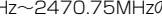
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

## ■周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS: 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF: 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4: 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ : 2400MHz～2470.75MHzの帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャンネルは1～11です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

ご利用の国によっては無線LANの使用が制限されている場合があります。その国/地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

## ■2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

## FeliCa およびNFCリーダー/ライターについてのお願い

■本端末の FeliCa およびNFCリーダー/ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。

■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー/ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

■航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国/地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

## 注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末の銘板シールに表示されております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- 本端末のFeliCa およびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

## 防水／防塵性能

P-01Jは、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けて隙間や浮きがない状態でIPX5\*<sup>1</sup>、IPX7\*<sup>2</sup>の防水性能、IP5X\*<sup>3</sup>の防塵性能を有しています。

- \*1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- \*2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽にP-01Jを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
- \*3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

(注)実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。浸水や異物混入を防ぎ、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。

雨の中やキッチン、プールサイドなどの水際でもご使用できます。

### 雨の中

- 雨の中で傘をささずに濡れた手で通話できます。(1時間の雨量が20mm未満、地面からの跳ね返りで足元が濡れる程度)
- ※手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子カバーの開閉は行わないでください。

## 洗う

- 本端末が汚れた場合は、洗面器などに張った常温の真水や水道水につけて静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗うことができます。
- リアカバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子カバーを押さえたまま洗ってください。
- 洗うときは、ブラシやスポンジ、石けん、洗剤などを使用しないでください。
- 洗い流したあとは表面を乾いた布でよく拭いて、水抜き(P.23参照)を行ったのち、自然乾燥させてください。



石けん・洗剤

## レジャー

- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水や海水がかかった場合は所定の方法(P.20参照)で洗ってください。



海水・プール

## キッチン

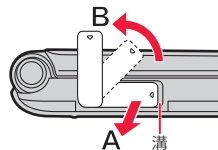
- 常温の真水や水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- お湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

## ご使用にあたっての重要事項

- ご使用前に、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けている状態にしてください。微細なゴミ(微細な繊維、髪の毛、砂など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。外部接続端子カバーを閉じるときやリアカバーを取り付けるときは、カバー周辺(特にパッキン)にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- 外部接続端子カバーやリアカバーが浮いていないようにしっかりと閉じていることを確認してください。確実に閉じていないと水や粉塵が侵入する恐れがあります。
- 防水/防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は本端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

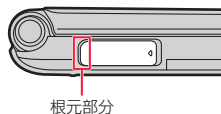
## 外部接続端子カバーの開けかた

- 1 溝に指先をかけてAの方向に引っ張り出したあと、Bの方向に回転させる



## 外部接続端子カバーの閉じかた

- 1 本端末と平行に揃えて外部接続端子カバーの根元部分をしっかりと押さえながら押し込む

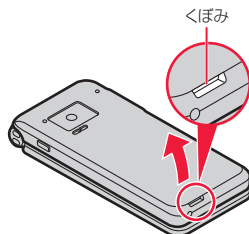


- 2 外部接続端子カバー全体に浮きがないことを確認する

## リアカバーの取り外しかた

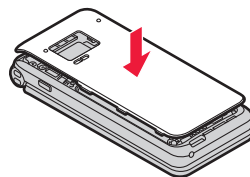
- 1 本端末のくぼみ部分に指先をかけて矢印の方向へ持ち上げ、指で少しずつリアカバーを浮かせるようにして取り外す

- リアカバーを外す際に音がする場合があります。
- リアカバーは防水／防塵性能を維持するため、しっかりと閉じる構造になっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

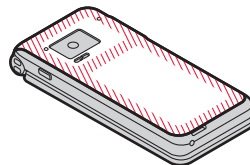


## リアカバーの取り付けかた

- 1 リアカバーの向きを確認して、本端末に合わせて押し込む



- 2 図の斜線部分をしっかりと押し付けて取り付ける



- 3 リアカバーと本端末に隙間がないことを確認する

## 注意事項

### ■本端末について

- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
  - 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
  - 水滴が付着したまま放置しないでください。
    - 外部接続端子がショートする恐れがあります。
    - ボタンやヒンジ部などの隙間から水分が入り込む場合があります。また、寒冷地では、本端末に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。
- 水で濡れた場合は、リアカバーを取り付けた状態で外部接続端子カバーを閉じたまま水抜き(P.23参照)を行い、本端末から出た水分を乾いたきれいな布で直ちに拭き取ってください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。破損により防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
  - お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
  - 本端末は水に浮きません。
  - 規定(P.19参照)以上の強い水流に当てたり、水中に沈めたりしないでください。
  - 砂浜などの上に直接置かないでください。
    - 送話口、受話口、スピーカー部の穴などに砂などが入り、音が小さくなる恐れがあります。
    - 水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
    - 外部接続端子カバー、リアカバーに砂などがわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。

### ■外部接続端子カバーやリアカバーについて

- 手袋などをしたまま開閉しないでください。パッキンの接着面に微細なゴミが付着する場合があります。
- 乾いたきれいな布で水分を拭き取る際は、パッキンに繊維が付着しないようご注意ください。
- パッキンをはがさないでください。また、外部接続端子カバーやリアカバーの隙間に先の尖ったものを差し込まないでください。パッキンが傷つき、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 外部接続端子カバー、リアカバーのパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水などの液体が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子カバーまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

### ■送話口、受話口、空気穴、スピーカー部について

- 送話口、受話口、空気穴、スピーカー部の穴を尖ったものでつつかないでください。
- 水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

### ■その他

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属の卓上ホルダは、ACアダプタを接続しない状態でも、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。



## 水に濡れたときの水抜きについて

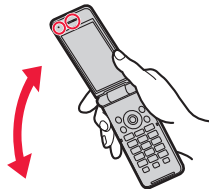
- 本端末に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、音質が変化する場合があります。
- ボタンやヒンジ部などの隙間から水分が入り込んでいる場合があります。下記の手順で本端末の水分を取り除いてください。

### 1 本端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る

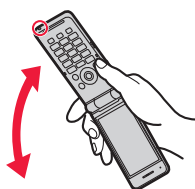


### 2 本端末を確実に持って、各面を少なくとも20回程度、水滴が飛ばなくなるまでしっかり振る

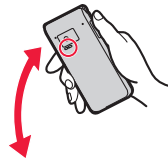
〈受話口・空気穴の水抜き〉



〈送話口の水抜き〉

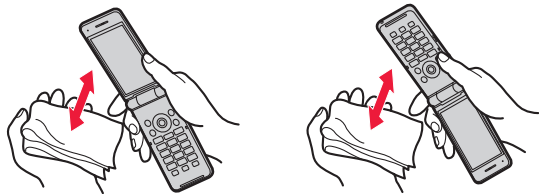


〈スピーカーの水抜き〉



### 3 乾いたきれいな布に本端末を軽く押し当て、送話口、受話口、空気穴、スピーカー、ボタン、ヒンジ部などの隙間に入った水分を拭き取る

- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。



### 4 十分に水分を取り除いてからご使用ください。

- 上記の手順を行っても、本端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。また、水が染み出ることがありますので濡れては困るものをそばに置かないようにご注意ください。

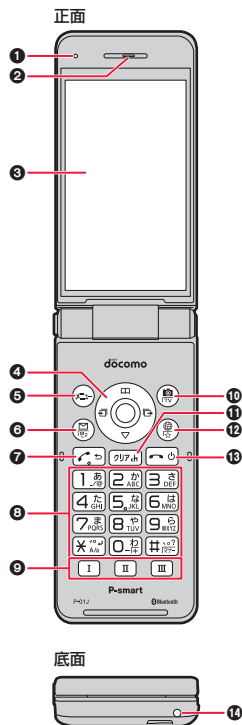
### 充電のときには

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には次の点を確認してください。

- 本端末が濡れた状態では絶対に充電しないでください。本端末が濡れたときはよく水抜きをして乾いたきれいな布で拭き取ってから充電してください。
- 外部接続端子カバーを開けて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子カバーを閉じてください。外部接続端子から水や粉塵の侵入を防ぐため、付属の卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りで使用しないでください。

# ご使用前の確認と設定

## 各部の名称と機能



### ①空気穴

- 本端末内の圧力調整をするための穴です。

### ②受話口

- 相手の声をここから聞く

### ③ディスプレイ(表示部)(P.30参照)

### ④○コマンドナビゲーションボタン

- 機能操作やメニュー操作を行う(P.28、P.29参照)

### ⑤☰メニューボタン

### ⑥✉メールボタン

### ⑦⏻開始ボタン

- 電話をかける／受ける(P.47、P.49参照)

### ⑧ダイヤルボタン

- 電話番号や文字を入力する

### ⑨I II IIIマルチワンタッチボタン(P.30参照)

### ⑩📷カメラボタン／ワンセグボタン

### ⑪🧹クリアボタン／iチャンネルボタン

- 操作を1つ前の状態に戻す
- 入力した文字や電話番号を消す

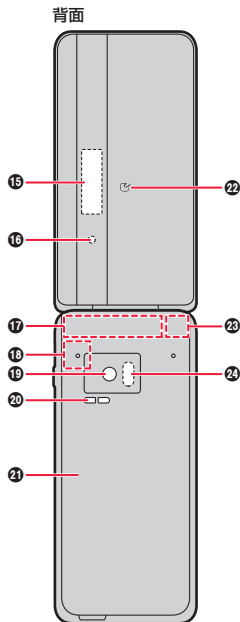
### ⑫🌐Webボタン／ブックマークボタン

### ⑬🔌電源／終了ボタン

- 通話を終了する
- 各機能を終了する
- 電源を入れる／切る／再起動する(P.40、P.41参照)

### ⑭送話口

- 自分の声をここから相手に送る



**15**背面ディスプレイ(P.33参照)

**16**着信／充電ランプ

- 電話の着信時やメールの受信時などに光る(P.96参照)
- 充電中に赤色に点灯する
- 不在着信などの通知があるときに光る
- 設定によっては、着信／充電ランプの光の見えかた、色味、点灯／点滅パターンが異なる場合があります。

**17**LTEアンテナ※／FOMAアンテナ※

**18**Bluetoothアンテナ※／Wi-Fiアンテナ※

**19**カメラ

- 人や風景を撮影する(P.66参照)

**20**スピーカー

- 着信音が鳴る
- ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く(P.50参照)

**21**リアカバー

- 電池パック、ドコモnanoUIMカード、microSDカードの付け外しをするときに取り外す(P.21、P.35、P.37、P.112参照)

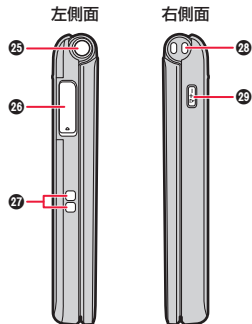
**22**マーク

- ICカードを搭載しています。このマークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外しできません。(P.78参照)

**23**ワンセグアンテナ※／GPSアンテナ※

**24**赤外線ポート

- 赤外線通信に使用する(P.116参照)



#### 25 ワンタッチオープンボタン(P.27参照)

#### 26 外部接続端子

- 充電時およびイヤホンマイク、パソコンなどの接続時に使用する端子です。
- イヤホン変換アダプタ Q2(別売)を使用するとイヤホンを接続できます。

#### 27 充電端子

- 付属の卓上ホルダで充電するときに使用します。

#### 28 ストラップ取り付け穴

#### 29 ショートカットボタン/マルチタスクボタン/マナーボタン(サイドボタン)

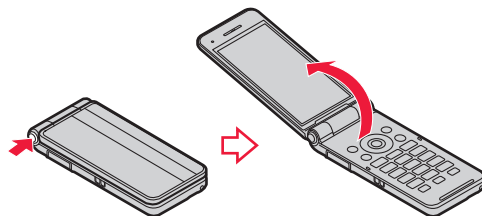
- ショートカットを表示
- マルチタスク画面を表示(1秒以上押し)
- マナーモードを設定/解除する(端末を閉じた状態で1秒以上押し)

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

## ワンタッチオープン

ワンタッチのボタン操作で簡単に本端末を開けます。(ワンタッチオープン)

- ボタンを使わず手で開くこともできます。
- 本端末を閉じるときは手で閉じます。閉じられない場合は一度完全に開いてから閉じてください。



#### お知らせ

- 本端末の向きによっては、ワンタッチオープンボタンを押したときに完全に開かない場合もあります。
- ワンタッチオープンボタンを押して本端末を開くときは、反動で本端末を落とさないようにご注意ください。

# 基本操作

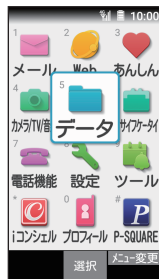
## メニューの操作

本端末では(メニュー)を押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。本書では、メインメニューから機能呼び出す方法を基準に説明しています。

### 1 待受画面で(メニュー)を押す

メインメニューが表示されます。

- メインメニュー表示中に(メニュー変更)を押すと、メインメニューの表示パターンを変更できます。

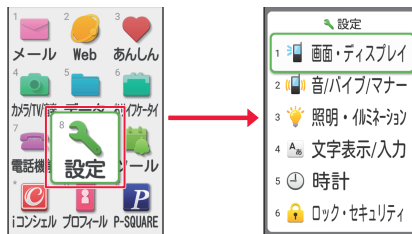


メインメニュー

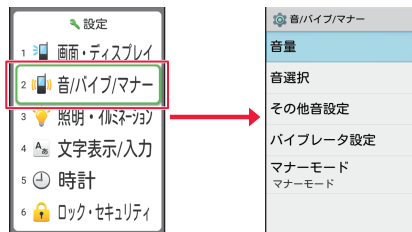
### 2 (設定)で項目にカーソルを合わせて(選択)を押す

項目が選択されます。

- 項目番号がある場合は対応するダイヤルボタンを押しても選択できません。



### 3 項目の選択を繰り返して目的の機能を実行する



これらの操作を本書では以下のように記載しています。

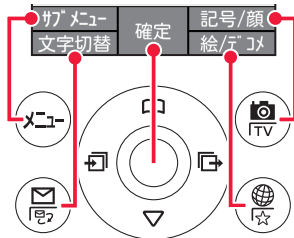
### 1 (メニュー)▶設定▶音/バイブ/マナー▶音量

## お知らせ

- **ク**を押すと1つ前の画面に戻ります。
- **←**を押すと待受画面に戻ります。

## ナビゲーション表示とボタン操作

ディスプレイに表示されている操作を行うには、表示に対応するボタンを押します。



## 簡単な操作で機能を起動する

機能によっては、メニューから選択して起動する方法だけでなく、待受画面からのボタン操作で起動できるものもあります。

	アイコン選択モードに移行
	電話帳の表示
	通知パネルを表示
	着信履歴を表示
	リダイヤルを表示
	カメラを起動 ワンセグを起動(1秒以上押す)
	ドコモメールを起動 メール問合せを実行(1秒以上押す)
	Webメニューを表示 ブックマーク一覧を表示(1秒以上押す)
icon	「#」を入力 マナーモードの設定/解除(1秒以上押す)
	マルチワンタッチ機能で登録した機能を起動 マルチワンタッチ機能の設定/解除(1秒以上押す)
	ショートカットを表示 マルチタスク画面を表示(1秒以上押す)

### ■本端末を閉じた状態でのボタン操作

	背面ディスプレイの情報表示 マナーモードの設定/解除(1秒以上押す)
--	---------------------------------------

## マルチワンタッチ機能

よく使う機能や電話帳などをマルチワンタッチボタンに登録しておく  
と、登録した機能を簡単に呼び出すことができます。

- お買い上げ時にはマルチワンタッチボタンに機能が登録されていますが、変更することができます。

### 機能呼び出す

1 **I** / **II** / **III** を押す

### 登録済みの機能を変更する

1 **メニュー** ▶ **設定** ▶ **その他設定** ▶ **マルチワンタッチ機能**

2 **マルチワンタッチボタンを選択** ▶ **機能を選択** ▶ **はい**

- 機能によっては電話番号などを選択します。
- I** / **II** / **III** を1秒以上押しても機能を変更することができます。

## 待受画面の見かたと操作



待受画面

「ひつじのしつじくん®」  
© NTT DOCOMO

### ①ステータスバー

本端末の状態を示すアイコンや通知アイコンが表示されます。

- 通知パネルを開くと通知アイコンの詳細を確認できます。(P.32参照)

### ②時計

現在の日時や世界時計などを表示します。

### ③カレンダー／歩数計

カレンダーまたは歩数計を表示できます。

- 「待受画面設定」(P.94参照)の「カレンダー／歩数計表示」で設定している場合のみ表示されます。

### ④お知らせアイコン

不在着信や新着メールなどをお知らせします。

### ⑤iチャネルテロップ



### ⑥マチキャラ




## アイコン選択モード

待受画面のお知らせアイコンなどを選択して、情報を確認したり、対応する機能を起動したりできます。

### 1 待受画面で を押す







アイコン選択モードになります。 または  を押すとアイコン選択モードを終了します。

- アイコン選択モード中に  (サブメニュー) を押すと、画面や壁紙の設定ができます。(P.94参照)

### 2 でアイコンなどを選んで (選択) を押す

#### ■お知らせアイコンなどを選択したときの動作

- アイコンによっては件数などが表示されます。

-  (不在着信): 着信履歴を表示します。
-  (未読メール): 受信BOXを表示します。
-  (未読SMS): SMS一覧を表示します。
-  (伝言メモ): 伝言メモリストを表示します。
-  (留守番電話): 留守番電話センターへ接続する画面を表示します。
-  (その他通知): 通知パネルを表示します。

**時計:** アラームを起動します。

**カレンダー:** スケジュールを起動します。

**歩数計:** 歩数計を起動します。

**マチキャラ:** i コンシェルを起動します。

## ステータスバー

ステータスバーの左側には通知アイコン、右側にはステータスアイコンが表示されます。




























- 通知アイコンの詳細は通知パネルで確認できます。(P.32参照)



通知アイコン  ステータスアイコン 

#### ■主な通知アイコン

	不在着信あり
	新着メールあり
	新着SMSあり
	新着エリアメールあり
	スケジュールの通知
	伝言メモあり
	留守番電話メッセージあり
	音楽再生中
	着信中
	エラーメッセージあり
	おまかせロック設定中
	バッテリーセーバー動作中
	データ送信中/データ受信中
	スクリーンショットあり
	位置提供設定ON
	本体の空き容量低下

## ■主なステータスアイコン


	電池残量(目安)  :約100%~約20%  :約19%以下 ●充電中は  が付きます。
	電波状態  (レベル4)  (レベル3)  (レベル2)  (レベル1)  (レベル0)  (圏外) ●3G使用可能時は <b>3G</b> が付きます。 ●HSPA使用可能時は <b>H</b> が付きます。 ●4G(LTE)使用可能時は <b>4G</b> が付きます。 ●国際ローミング時は <b>R</b> が付きます。
	機内モード中
	Wi-Fi接続中  (レベル4)  (レベル3)  (レベル2)  (レベル1) ●データ送受信中は  が付きます。 ●インターネットが利用不可の場合は  が付きます。
	Bluetooth機能ON ●機器と接続中は白色で表示されます。
	GPS測位中
	マナーモードの状態  (マナーモード設定中)  (スーパーサイレント設定中)  (オリジナルマナー設定中) ●マナーモード設定中またはオリジナルマナーでパイプレータを設定中は  も表示されます。
	伝言メモ設定中

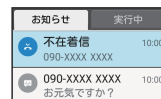
	アラーム設定中
	おサイフケータイのロック中

## 通知パネル





お知らせアイコンや通知アイコンの詳細を確認したり、対応する機能を起動したりできます。

### 1 待受画面で を押す

- アイコン選択モードで「」を選択しても表示できます。
- 通知の内容によって、「お知らせ」タブまたは「実行中」タブのどちらかに通知が表示されます。



### 2 通知を選んで (選択) を押す

- 通知内にボタンがある場合は、ボタンを選択すると返信などの操作ができます。
-  (←) または  (→) を押すと、お知らせの通知と実行中の通知が切り替わります。
-  (消去) または  (全消去) を押すと、通知を消去できます。(実行中の通知は消去できません。)

## 背面ディスプレイ

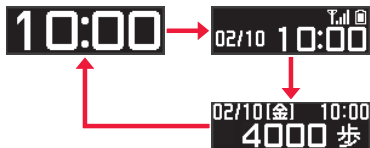
背面ディスプレイには、さまざまな情報が表示されます。本端末を閉じたときや、閉じた状態で $\left[ \text{F} \right]$ を押したときなどに表示されます。

- 端末の状態によっては、情報が表示されない場合があります。

### 時計表示

通常の待ち受け時は時計を表示します。 $\left[ \text{F} \right]$ を押すたびに時計の表示パターンを変更できます。

- 端末の状態によっては変更できない場合があります。



### 不在着信があったときは

本端末を閉じたときなどに「 $\left[ \text{✉} \right]$ 」が表示されます。

$\left[ \text{F} \right]$ を押すと不在着信履歴が表示されます。電話帳に登録している相手からの不在着信の場合、名前が表示されます。

複数の不在着信があった場合、最新の不在着信履歴のみが表示されます。

- 不在着信履歴を表示すると「 $\left[ \text{✉} \right]$ 」は消えます。



### 新着メールがあったときは

未読メールがある場合、本端末を閉じたときなどに「 $\left[ \text{✉} \right]$ 」が表示されます。

- 受信したメールを表示すると「 $\left[ \text{✉} \right]$ 」は消えます。



### 歩数情報を表示するには

本端末を閉じた状態で $\left[ \text{F} \right]$ を押したときなどに歩数情報が表示されます。歩数を計測するには、「歩数計ON/OFF」にチェックを付けておく必要があります。(P.88参照)



## 着信／充電ランプ

充電時や着信時、不在着信やメール受信などの新しい通知がある場合に着信／充電ランプが光ります。

- 充電時の着信／充電ランプについてはP.39参照。
- 光るパターンとカラーを設定するにはP.96参照。

## スクリーンショット

表示中の画面を画像として保存します。保存した画像は「データ」の「ピクチャー」で表示できます。

### 1 と を同時に1秒以上押す

- ショートカッター一覧から「画面キャプチャ」を選択しても実行できます。

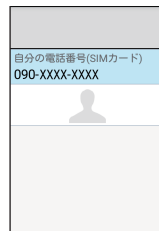
### お知らせ

- 著作権で保護されたコンテンツなどを表示中の場合は、スクリーンショットができなかったりコンテンツの画像部分が保存できない場合があります。

## プロフィール

お客様の電話番号を確認できます。また、お客様ご自身の情報を入力、編集できます。

### 1 ▶プロフィール



### プロフィールを編集するには

### 1 プロフィール画面で (サブメニュー) ▶プロフィール編集

### 2 各項目を入力 ▶ (登録)

- 各項目の入力方法などについてはP.55参照。

### プロフィールを送信するには

### 1 プロフィール画面で (サブメニュー) ▶データ送信(共有)

### 2 送信方法を選択 ▶ 画面に従って操作する

## ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

ドコモnanoUIMカードを差し込まないと、本端末で電話、パケット通信などの機能を利用できません。

ドコモnanoUIMカードの詳しい取り扱いにつきましては、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

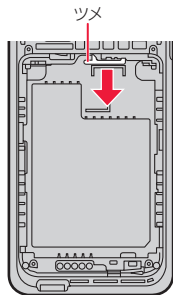
ドコモnanoUIMカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようご注意ください。

### ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

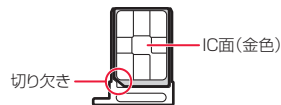
ドコモnanoUIMカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます。(P.37参照)

#### 取り付けかた

- 1 トレイのツメ部分に指先をかけ、まっすぐゆっくり引き出してトレイを取り外す

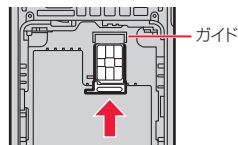


- 2 ドコモnanoUIMカードのIC面(金色)を上にし、切り欠きが左側になっていることを確認してトレイにのせる

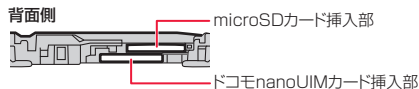


- 3 トレイをガイドの位置に合わせて、ドコモnanoUIMカード挿入部にまっすぐ押し込む

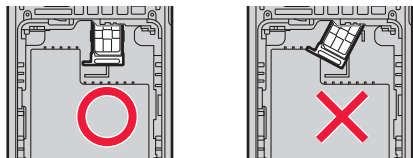
- 固定されるまで確実に押し込んでください。
- ドコモnanoUIMカードが浮かないように、カードの端を指先で押さえながら押し込んでください。



- ドコモnanoUIMカード挿入部は、microSDカード挿入部の下にあります。誤ってmicroSDカード挿入部に挿入しないようご注意ください。

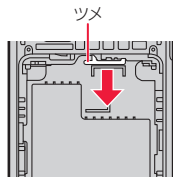


- トレイが傾いた状態や、表裏が逆の状態無理に挿し込まないでください。ドコモnanoUIMカードやトレイが壊れることがあります。



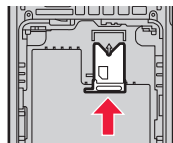
### 取り外しかた

- 1 トレイのツメ部分に指先をかけ、まっすぐゆっくり引き出してトレイを取り外し、トレイからドコモnanoUIMカードを取り外す



- 2 トレイをガイドの位置に合わせて、ドコモnanoUIMカード挿入部にまっすぐ押し込む

- 固定されるまで確実に押し込んでください。



### お知らせ

- ドコモnanoUIMカードの付け外しは、端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードやトレイは、なくさないようご注意ください。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

### ドコモnanoUIMカードの暗証番号

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.99参照)

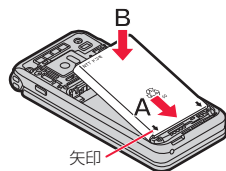
## 電池パック

本端末専用の電池パック P33を使用してください。  
電池パックは、リアカバーを取り外してから取り付けます。(P.21 参照)

### 電池パックの取り付け／取り外し

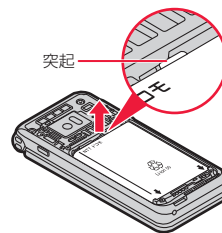
#### 取り付けかた

- 1 電池パックの矢印面を上にして、電池パックの端子部を端末の電池端子部に合わせて差し込み、Aの方向に押し付けながら、Bの方向に押し込む



#### 取り外しかた

- 1 電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる



#### お知らせ

- 電池パックの付け外しは、電源を切ってから、端末を閉じて手で持った状態で行ってください。また、付け外し中にワンタッチオープンボタンを押さないようご注意ください。
- 電池パックを無理に取り付けようとすると端末の端子部やドコモnanoUIMカードが壊れることがあります。
- 電池パックが取り外しにくい場合は、電池端子部の方向に押し付けながら突起部を上方向に持ち上げると取り外しやすくなります。無理に取り外そうとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

## 充電

### ■充電時のご注意

- ACアダプタ 05 (別売)のプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。海外で利用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- ACアダプタ 05はAC100Vから240Vまで対応しています。
- microUSBプラグを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。
- 端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
- 電池切れの状態でも充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。また、電池切れの状態ではパソコンから充電できません。ACアダプタで充電してください。
- 充電したまま端末を長時間おくと、充電を繰り返すことがあります。また、充電が終わったあと端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、使用しているすべての機能を終了し、周囲温度(P.15参照)を確認してから再度充電を行ってください。再充電の際は、端末を一度ACアダプタ(または卓上ホルダ)、DCアダプタから外して再度セットし直してください。
- 使用状況や周囲温度によっては電池残量が100%になる前に充電が停止することがあります。このようなときは、使用しているすべての機能を終了し、周囲温度(P.15参照)を確認してから再度充電を行ってください。再充電の際は、端末を一度ACアダプタ(または卓上ホルダ)、DCアダプタから外して再度セットし直してください。
- 充電中にワンセグの視聴などを行う場合は、端末をACアダプタ(DCアダプタ)の電源プラグ部からなるべく離してご使用ください。
- 詳しくはACアダプタ 05、DCアダプタ 04(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- 電池パックの使用時間と充電時間についてはP.145「主な仕様」参照。

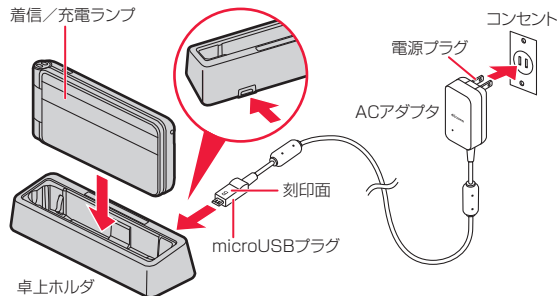
### ■電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながら電話やワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。



## 卓上ホルダでの充電

付属の卓上ホルダ P56とACアダプタ 05(別売)を使って充電する場合は、次の手順で行います。



## 1 ACアダプタのmicroUSBプラグを、Bの刻印面に上にして卓上ホルダのコネクタ端子へ水平に差し込む

- microUSBプラグの向き(表裏)をよく確かめ、水平に差し込んでください。



## 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む

## 3 端末の充電端子側を下にして、卓上ホルダに確実に差し込む

着信／充電ランプが点灯したことを確認してください。




- 端末は、卓上ホルダにしっかり差し込んでください。また、市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- 卓上ホルダに差し込む際は方向をよくご確認の上、差し込んでください。無理に差し込むと破損の原因となります。

## 4 充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながら端末をつかんで持ち上げ、取り外す

## 5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

## 6 ACアダプタのmicroUSBプラグを卓上ホルダのコネクタ端子から水平に抜く

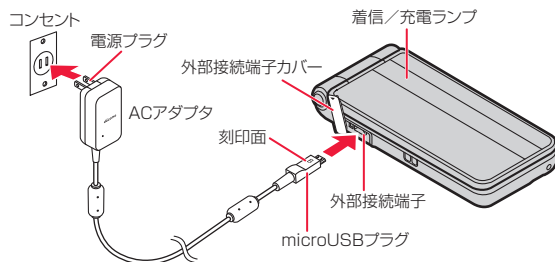
### ■ 充電中・充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	電池アイコン
充電中	赤色に点灯	 ~ 
充電完了	消灯	

- 端末の電源を切っているときは、電池アイコンは表示されません。電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。

## ACアダプタでの充電

ACアダプタ 05 (別売) を使って充電する場合は、次の手順で行います。



## 1 ACアダプタのmicroUSBプラグを、Bの刻印面を上にして外部接続端子へ水平に差し込む

- microUSBプラグの向き(表裏)をよく確かめ、水平に差し込んでください。
- 充電するときは、外部接続端子カバーをイラストの位置にしてください。外部接続端子カバーを開けたまま端末を開閉する場合は、外部接続端子カバーを端末に挟まないようにご注意ください。
- 外部接続端子カバーの開けかたについてはP.20参照。

## 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む

## 3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

## 4 ACアダプタのmicroUSBプラグを端末から水平に抜く

## DCアダプタ(別売)

DCアダプタは、端末に電池パックを付けたまま自動車のアクセサリースOCKET(12V/24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。  
詳しくはDCアダプタ 04の取扱説明書をご覧ください。

### お知らせ

- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず1.25Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ(1.25A)は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

## パソコンでの充電

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01(別売)で接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコンとの接続方法についてはP.114参照。

## 電源を入れる／切る

### 電源を入れる

#### 1 を2秒以上押す

しばらくすると、待受画面が表示されます。

- はじめて電源を入れたときは初期設定を行ってください。(P.44参照)



待受画面

### 電源を切る

#### 1 を2秒以上押す

#### 2 電源を切る▶OK

- 電源を切る際に時間がかかる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

## 再起動する

1  を2秒以上押す

2 再起動 ▶ OK

## 文字入力

本端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

### 文字入力画面

文字入力画面には、入力方式や入力モードなどの情報が表示されます。



#### ①入力モード

- あ: 漢字ひらがな入力モード
- カ: 全角カタカナ入力モード
- か: 半角カタカナ入力モード
- AB: 半角英字入力モード
- A: 全角英字入力モード
- 12: 半角数字入力モード
- 1: 全角数字入力モード

#### ②入力済み文字数

入力した文字数を表示します。

- 改行やスペースなどもカウントされます。
- 絵文字は1文字で2文字分カウントされます。

## 文字入力のしかた

### 1 文字入力画面▶ (文字切替)を押して入力モードを選択

### 2 文字を入力する

各ダイヤルボタンを繰り返し押すと、そのボタンに割り当てられている文字を入力できます。

<例>を押す場合

漢字ひらがな入力モード:「か→き→く→け→こ」

全角カタカナ入力モード:「カ→キ→ク→ケ→コ」







半角カタカナ入力モード:「カ→キ→ク→ケ→コ」

半角英字入力モード:「a→b→c→A→B→C→2」

全角英字入力モード:「a→b→c→A→B→C→2」


半角数字入力モード:「2」


全角数字入力モード:「2」

- 同じボタンで文字を続けて入力する場合は、を押してから次の文字を入力します。
- を押すと、大文字・小文字の切り替えや、濁点・半濁点の入力ができます。
- を押すと、逆順に文字が表示されます。
-  (変換)を押すと、入力中の文字を変換します。
-  (英数カナ)を押すと英数字、カタカナの候補リストが表示されます。
- 変換せずにそのまま確定する場合は、 (確定)を押します。


### 3 で候補リストにカーソルを移動▶ 変換候補を選択

#### ■改行入力




文末にカーソルがある状態でを押します。




- を押しても改行できます。

#### ■スペース入力


文末にカーソルがある状態でを押します。

#### ■コピー／切り取り／貼り付け

を1秒以上押してコピー／切り取りしたい文字を範囲選択し、 (コピー)または (切り取り)を押します。


- を1秒以上押して (始点)を押し、 (貼り付け)を押すと、コピー／切り取りした文字を貼り付けます。



#### ■元に戻す

を1秒以上押します。

- 直前の操作が元に戻ります。文字を削除した場合は、5回分元に戻せます。



#### ■記号／顔文字入力

 (記号／顔)を押します。

-  (←)または (→)を押すと、表示内容が切り替わります。

#### ■絵文字／デコメ絵文字®入力

 (絵／デコメ)を押します。

-  (←)または (→)を押すと、表示内容が切り替わります。

## 文字の修正

### 1 カーソルを修正したい文字の左側へ移動▶

カーソルの右側の文字が削除されます。

- カーソルの右側に文字がない場合は、カーソルの左側の文字が削除されます。

### 2 正しい文字を入力

カーソルの位置に文字が挿入されます。

## 文字入力画面のサブメニュー

### 1 文字入力画面で (サブメニュー)▶ 項目を選択

**コピー**:文字を選択してコピーします。

**切り取り**:文字を選択して切り取ります。

**貼り付け**:コピー／切り取りした文字を貼り付けます。

**元に戻す**:直前の操作を元に戻します。文字を削除した場合は、5回分元に戻せます。

**改行入力**:改行を入力します。

**スペース入力**:スペースを入力します。

**文字入力設定**:P.43参照。

**各種設定**:P.43参照。

- 機能によっては、上記以外の項目が表示される場合があります。

## 文字入力の設定

### 予測機能ON／OFF

文字を入力したときに予測候補を表示するかどうか設定します。

### 1 文字入力画面で (サブメニュー)▶ 文字入力設定▶ 予測機能OFF／予測機能ON

### 自動カーソル移動

入力した文字を自動的に確定するかどうか、また確定するまでの時間を設定します。

### 1 文字入力画面で (サブメニュー)▶ 文字入力設定▶ 自動カーソル移動

### 2 OFF／遅い／普通／速い

### 予測／変換

ワイルドカード予測や自動スペース入力などについて設定します。

### 1 文字入力画面で (サブメニュー)▶ 各種設定▶ 予測／変換

### 2 各項目を選択

## ユーザー辞書

よく使う単語などを登録できます。

- 文字入力時に登録した単語の読みを入力すると、候補リストに単語が表示されます。

1 文字入力画面で  (サブメニュー) ▶ 各種設定 ▶ 辞書

2 日本語・英語 / その他 ▶  (サブメニュー) ▶ 登録 ▶ 読みと表記を入力 ▶ 保存


## 学習辞書リセット

一度入力した文字を記憶して変換候補に表示する学習履歴をお買い上げ時の状態に戻します。

1 文字入力画面で  (サブメニュー) ▶ 各種設定 ▶ その他 ▶ 学習辞書リセット ▶ はい

## 設定リセット

文字入力に関するすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

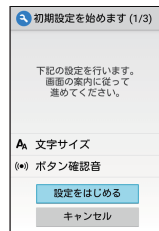
1 文字入力画面で  (サブメニュー) ▶ 各種設定 ▶ その他 ▶ 設定リセット ▶ はい

## 初期設定

お買い上げ後、はじめて本端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行います。

- 各設定項目は、メニュー機能からも設定できます。

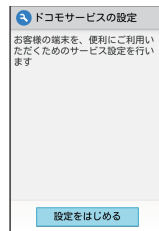
1 初期設定画面 ▶ 設定をはじめると



2 文字サイズを設定 ▶ ボタン確認音を設定

ソフトウェア更新と端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は、内容を確認して「OK」を押します。

3 ドコモサービスの設定画面 ▶ 設定をはじめると



## 4 項目の内容を確認▶同意する

## 5 画面に従って設定する▶OK

以下の項目について設定します。

- dアカウント
- ドコモアプリパスワード
- ドコモ位置情報
- 遠隔初期化※

※ドコモアプリパスワードを設定していない場合は表示されません。

### お知らせ

- 未設定の項目がある場合は、電源を入れるたびに初期設定画面が表示されます。

## ショートカット

操作中の機能を起動したままショートカット一覧を開いて、各種設定を変更したり機能を実行したりできます。

### 1 待受画面または機能操作中▶

ショートカット一覧が表示されます。



### 2 項目を選んで(選択)を押す

(選択)を押すごとに設定が変更されます。

- 項目によっては(設定)を押して設定を行います。
- 「画面キャプチャ」を選択すると、ショートカット一覧を開く前の画面を画像として保存します。

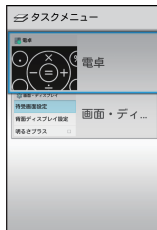
## マルチタスク

操作中の機能を起動したまま他の機能を起動したり、起動中の他の機能に切り替えたりできます。

機能を終了させることなく待受画面を表示することもできます。

### 1 待受画面または機能操作中▶ (1秒以上)

起動している機能の一覧が表示されます。



マルチタスク画面

### 他の機能を起動する


### 1 マルチタスク画面で (メニュー)を押す

### 起動中の他の機能に切り替える

### 1 マルチタスク画面で機能を選んで (選択)を押す

### 起動中の機能を終了する

### 1 マルチタスク画面で終了したい機能を選んで (サブメニュー)▶1件終了



- すべての機能を終了する場合は、 (サブメニュー)▶全終了▶YESと操作します。

### 待受画面を表示する

### 1 マルチタスク画面で (待受画面)を押す

- 通話中の場合は、通話中の画面を表示します。

### お知らせ

- 機能によっては、マルチタスク画面に表示されない場合があります。
- 「画面の固定」(P.101参照)をONにしていると、マルチタスク画面で機能を選んで (サブメニュー)▶画面の固定と操作すると、選択した機能以外を使用できないように設定できます。画面の固定を解除するには を1秒以上押しします。




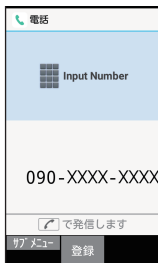
# 電話

電話や電話帳を利用したり、音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

## 電話をかける

### 1 電話番号を入力する



- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 入力した電話番号を電話帳に登録する場合は、 (登録) を押します。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知/番号非通知に設定して発信できます。



### 2 を押す

### 3 お話が終わったら で通話を終了する

## お知らせ

- VoLTEは、通話を高品質でご利用いただけます。
- VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種であること
  - VoLTE利用可能エリアであること
  - 優先ネットワークモード\*1が「4G/3G (自動)」、通話モード設定\*2が「VoLTE ON」であること
- ※1  > 設定 > 通信・ネットワーク > モバイルネットワーク設定 > 優先ネットワークモード
- ※2  > 電話機能 > 発着信・通話設定 > その他設定 > 通話モード設定

## プッシュ信号の入力

自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、「,」(2秒間停止)または「:」(待機)を使用すると電話番号と追加番号をまとめて入力して発信できます。

### 2秒間停止

電話番号をダイヤルしたあと自動的に2秒間停止してから追加番号を発信します。

### 1 電話番号を入力▶ (1秒以上)

「,」が入力されます。

### 2 送信するプッシュ信号を入力▶

電話がつながって約2秒後にプッシュ信号が自動的に送信されます。

### 待機

電話番号をダイヤルしたあと自動的に待機し、追加番号を送信するかどうかのメッセージが表示されます。「はい」を選択すると追加番号を発信します。

### 1 電話番号を入力▶ (1秒以上)

「:」が入力されます。

## 2 送信するプッシュ信号を入力▶

## 3 通話中に「はい」を選択

### 短縮ダイヤル

短縮ダイヤルに登録した相手にすばやく電話をかけることができます。

●あらかじめ電話帳に登録してください。(P.55参照)

#### 短縮ダイヤルへの登録

## 1 ▶電話機能▶短縮ダイヤル設定

## 2 <未登録>を選択▶電話帳から選ぶ▶電話番号を選択

#### 短縮ダイヤルで発信

## 1 短縮ダイヤルの番号(0~9)を入力▶

### 緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

#### お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。  
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。  
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。  
また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。
- 着信拒否設定を行っている場合に緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信すると、着信拒否設定の項目が「OFF」に設定されます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

## 国際電話(WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

- 国際電話ができる国・地域の一般電話や携帯電話にかけられます。
- 接続可能な国および海外通信事業者などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- WORLD CALLの料金は毎月の通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

### 一般電話へかける場合

1 **○(1秒以上)▶国番号▶地域番号(市外局番)▶相手先電話番号▶**

- を1秒以上押すと「+」が入力されます。

### 携帯電話へかける場合

1 **○(1秒以上)▶国番号▶相手先の携帯電話番号▶**

- を1秒以上押すと「+」が入力されます。

### お知らせ

- 地域番号(市外局番)や相手先の携帯電話番号が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- 「+」の代わりに「010」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

## 電話を受ける

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信／充電ランプが光る



2  または **○(通話)** を押して電話に出る

- サブメニューから「着信拒否」を選択すると着信を拒否、「拒否してSMS送信」を選択すると着信を拒否してSMSを送信、「応答して録音開始」を選択すると音声メモを録音します。

3 お話しが終わったら  で通話を終了する

### 着信音量調節

1 着信中▶  で着信音量を調節

## あんしん応答

電話着信時に相手に名前を尋ねるメッセージを流し、相手の声を確認したあとに電話に出ることができます。

1 着信中に🌐(あんしん)を押す

2 電話に出る場合は📞または📞(通話)、電話に出ない場合は📧(お断り)を押す

📧(お断り)を押した場合は、相手に専用の応答メッセージが流れ、通話が終了します。

### 応答メッセージを設定する

1 🗄️▶️電話機能▶️あんしん応答設定▶️応答メッセージ  
▶️パターン1/パターン2

## 不在着信

かかってきた電話に出られなかったとき(不在着信)は、待受画面にお知らせアイコン「📧」が表示されます。アイコンを選択して着信履歴を確認します。

1 📧▶️「📧」を選択

## 通話中の操作

通話中は利用状況に応じて音声メモの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



- 1 相手の名前  
電話帳に登録していると相手の名前が表示されます。
- 2 電話番号  
相手の電話番号が表示されます。
- 3 サブメニュー  
音声メモの録音、着信履歴/リダイヤルの参照などができます。
- 4 電話帳  
電話帳を表示します。
- 5 VoLTE通話中
- 6 通話音質  
通話音質の設定内容が表示されます。
- 7 ハンズフリー  
ハンズフリーのON/OFFを設定します。  
●本端末に向かって約50cm以内の距離でお話ください。
- 8 ミュート  
ミュートのON/OFFを設定します。
- 9 保留  
保留/保留解除にします。

## 通話音量調節

1 通話中▶で通話音量を調節

## 通話音質

通話中の音質を「ナチュラル」「バランス」「クリア」から選択できます。

1 通話中▶で通話音質を選ぶ

### お知らせ


- 設定した音質は受話口からの音声のみ有効です。イヤホンやハンズフリーなどを利用しているときは無効となります。

## 通話を追加



通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。


- 通話を追加するにはキャッチホンのご契約が必要です。

例：電話帳を表示して通話を追加するときは

1 通話中に (電話帳)▶電話帳検索


- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。

2 連絡先を選択▶電話番号を選んでまたは (発信)を押す

- 通話相手を切り替える場合は、通話中に (通話切替)を押してください。

## 音声の出力先の切替

- Bluetooth機器を接続しているときのみ有効です。


1 通話中に (サブメニュー)▶本体通話切替/  
Bluetooth通話切替

## 音声メモの録音

通話中の音声を録音します。

- 1件につき約60分間で、10件まで録音できます。
- 音声メモの再生についてはP.52参照。





1 通話中にを押す

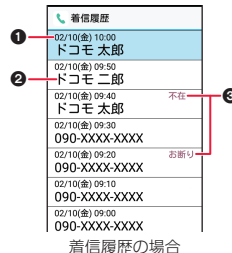
録音を開始します。もう一度を押すと録音を停止します。

## リダイヤル／着信履歴

最新の履歴からそれぞれ50件まで記憶されます。

1 を押す








- を押すと着信履歴一覧画面、を押すとリダイヤル一覧画面が表示されます。
- を押すと電話をかけることができます。
- リダイヤル／着信履歴を切り替えるにはを押します。



- ① 発信日時
- ② 相手の名前／電話番号
- ③ 不在着信／お断り

かかってきた電話に出られなかった場合は「不在」、あんしん応答でお断りした場合は「お断り」と表示されます。

## 2 履歴を選択

- メールの作成・送信をする場合は、 (サブメニュー)▶メール作成と操作します。
- SMSの作成・送信をする場合は、 (SMS作成)を押します。
- 番号通知などの条件を設定して発信する場合は、 (サブメニュー)▶発信オプション▶各項目を設定▶ (発信)と操作します。
- 居場所を確認する場合は、 (サブメニュー)▶居場所を確認と操作します。  
- ご利用にはパケット通信料がかかります。
- 電話帳に登録する場合は、 (サブメニュー)▶電話帳登録▶登録先を選択▶各項目を設定▶ (登録)と操作します。

### リダイヤル／着信履歴の削除

## 1 リダイヤル／着信履歴表示中に (サブメニュー)▶履歴削除

## 2 1件削除▶はい

- 履歴を複数削除する場合は「選択削除」、全件削除する場合は「全件削除」を選択します。

## 伝言メモ／音声メモ


伝言メモの設定を行ったり、伝言メモや音声メモの再生・消去などを行います。

- 伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音できます。1件につき約60秒間で、10件まで録音できます。

## 1 ▶電話機能▶伝言メモ／音声メモ▶項目を選択

**音声メモリスト:**音声メモの再生や削除などができます。

**伝言メモリスト:**伝言メモの再生や削除などができます。

- 待受画面で「」を選択しても伝言メモの再生や削除などができます。

**伝言メモ設定:**伝言メモの動作について設定します。

**応答メッセージ設定:**伝言メモの応答メッセージについて設定します。

**応答時間設定:**伝言メモの応答時間について設定します。

### お知らせ

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、再生済みの保護されていない古い伝言メモから順に削除されます。伝言メモがすべて未再生または保護されているときは電話がかかっても伝言メモで応答しません。
- 保存した音声メモが最大保存件数を超えた場合は、再生済みの保護されていない古い音声メモから順に削除されます。音声メモがすべて未再生または保護されているときは音声メモを録音できません。

## 発着信・通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話などの設定を行います。

### 1 電話機能 ▶ 発着信・通話設定

### 2 項目を選択

ネットワークサービス:P.53参照。

海外設定:P.128参照。

着信設定:P.54参照。

発信設定:P.54参照。

その他設定:P.54参照。

## ネットワークサービス

### 1 電話機能 ▶ 発着信・通話設定 ▶ ネットワークサービス

### 2 項目を選択

**留守番電話サービス:**電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

**転送でんわサービス:**電話を転送するサービスです。

**キャッチホン:**通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。

**発信者番号通知:**発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせすることができるサービスです。

**迷惑電話ストップサービス:**いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。

**番号通知お願いサービス:**電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。ガイダンス応答後は自動的に電話を終了します。

**通話中着信設定:**通話中に別の電話がかかってきたことをお知らせするかどうかを設定します。

**着信通知:**電源が入っていなかったとき、圏外にいたとき、通話中のときに着信があった場合、着信の情報をSMSでお知らせします。

**英語ガイダンス:**留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

**遠隔操作設定:**留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

**公共モード(電源OFF)設定:**公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいたため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

## 着信設定

1 ▶電話機能▶発着信・通話設定▶着信設定

## 2 項目を選択

**着信拒否設定**: P.54参照。

**呼出動作開始時間設定**: 電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信が鳴るように設定できます。

**応答拒否SMS**: 応答拒否SMSメッセージの編集をします。

## 着信拒否設定

1 着信設定画面▶着信拒否設定▶着信拒否設定  
▶ON▶OK

## 2 項目を選択

**登録外着信拒否**: 電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。

**非通知着信拒否**: 電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。

**公衆電話着信拒否**: 公衆電話からの着信を受けないように設定します。

**通知不可能着信拒否**: 電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。

## 発信設定

1 ▶電話機能▶発着信・通話設定▶発信設定

## 2 項目を選択

**サブアドレス設定**: 電話番号の「\*」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すかどうかを設定します。

**プレフィックス設定**: 「186」「184」など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。

## その他設定

1 ▶電話機能▶発着信・通話設定▶その他設定

## 2 項目を選択

**通話モード設定**: VoLTEを利用するかどうかを設定します。

**通話時間**: P.54参照。

**帯域拡張処理**: 通話中の音声の聞き取りやすさを向上できます。

**ドコモへのお問合せ**: P.55参照。

**オープンソースライセンス**: オープンソースライセンスを表示します。

## 通話時間

1 通話時間画面▶項目を選択

**積算通話時間表示**: 積算通話時間を表示します。

**積算時間リセット**: 積算通話時間をリセットします。

**自動リセット設定**: 毎月1日に積算通話時間を自動的にリセットするかどうかを設定します。



## 1 ドコモへのお問い合わせ選択画面▶項目を選択

**ドコモ故障問合せ:**ドコモの故障お問い合わせ先に電話をかけます。

**ドコモ総合案内・受付:**ドコモの総合お問い合わせ先に電話をかけます。

**海外紛失・盗難等:**海外からドコモの紛失、盗難などのお問い合わせ先に電話をかけます。

**海外故障:**海外からドコモの故障お問い合わせ先に電話をかけます。

## 電話帳

連絡先の管理を行うことができます。

### 電話帳の登録

## 1 ▶電話機能▶電話帳▶電話帳登録

## 2 新規連絡先として登録／既存の連絡先に追加

- 「既存の連絡先に追加」を選択した場合は、追加したい連絡先を選択します。

## 3 各項目を設定する

**姓:**姓を登録します。

**名:**名を登録します。

**姓のふりがな:**姓のふりがなを登録します。

**名のふりがな:**名のふりがなを登録します。

**電話:**電話番号の種別と電話番号を登録します。

**メール:**メールアドレスの種別とメールアドレスを登録します。

**お気に入り:**お気に入りに登録します。

**グループ:**グループに登録します。あらかじめグループを追加しておく必要があります。(P.57参照)

**着信音:**着信音を設定します。

**イベント:**誕生日や記念日などを登録します。

**住所:**郵便番号と住所を登録します。

**メモ:**メモを登録します。

**ニックネーム:**ニックネームを登録します。

**所属:**所属を登録します。

**ウェブサイト:**URLを登録します。

**設定:**画像を登録します。

## 4 (登録)を押す

## 電話帳検索

### 1 を押す

電話帳検索画面が表示されます。

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、「利用する」/「利用しない」を選択してください。

## 表示方法の切替

### 1 を押す

- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する必要があります。

### 2 (サブメニュー) ▶ 確認/設定 ▶ 表示方法の切替

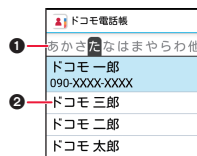
### 3 表示方法を選んで (優先設定) を押す

## 電話帳の確認/利用

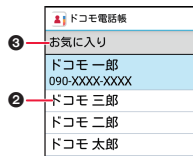
登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

### 1 ▶ 電話機能 ▶ 電話帳 ▶ 電話帳検索

電話帳一覧画面が表示されます。



全件表示(50音)



グループ一覧

- ① インデックスタブ
- ② 連絡先
- ③ グループ名

### 2 電話帳を選択する

電話帳詳細画面が表示されます。


## 電話をかける

### 1 電話帳詳細画面で電話番号を選んで または (発信) を押す

## SMSの作成・送信

### 1 電話帳詳細画面で電話番号を選んで (SMS) ▶ メッセージを入力 ▶ (送信)


## メールの作成・送信

- 1 電話帳詳細画面でメールアドレスを選択▶メールを作成▶ (送信)


## 電話帳の編集

- 1 電話帳詳細画面で (サブメニュー)▶連絡先編集  
登録内容についてはP.55参照。

## 電話帳の削除

- 1 電話帳一覧画面で電話帳を選んで (サブメニュー)▶連絡先削除▶1件削除▶はい
  - 電話帳を複数削除する場合は「選択削除」、全件削除する場合は「全件削除」を選択します。

## 電話帳のバックアップ／復元

- 1 電話帳一覧画面で (サブメニュー)▶SD/SIMカード/共有▶項目を選択


SDカードへバックアップ／復元:P.92参照。

SIMカードから復元:SIMカードから連絡先をインポートします。

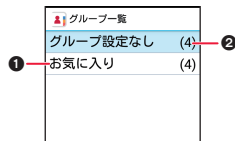
全件データ送信(共有):連絡先をメールやBluetooth通信などで送信します。

## グループの利用

- 1 ▶電話機能▶電話帳▶グループ一覧

「表示方法の切替」がグループ一覧に設定されている場合は、待受画面でを押しても表示されません。




- 2 グループを利用する





- ① グループ名
- ② 登録されている連絡先の件数

## グループの編集

- 1 グループ一覧画面で (サブメニュー)▶グループ追加▶グループ名を入力▶OK

- グループ名を変更する場合は、グループ一覧画面でグループ名を変更したいグループを選んで (サブメニュー)▶グループ名変更▶グループ名を入力▶OKの操作を行います。
- グループの削除をする場合は、グループ一覧画面で削除したいグループを選んで (サブメニュー)▶グループ削除▶OKの操作を行います。
- グループの並べ替えをしたい場合は、グループ一覧画面で並べ替えしたいグループを選んで (サブメニュー)▶表示位置を上へ移動/表示位置を下へ移動の操作を行います。

## グループへの登録／解除

- 1 グループ一覧画面で登録／解除したいグループを選んで  (サブメニュー) ▶ グループメンバ変更 ▶ 名前を選択 ▶  (確定)

### お知らせ

- 「グループ設定なし」と「お気に入り」は、グループ名の変更、グループの削除などの操作はできません。

# メール／ウェブブラウザ

ドコモメールやSMSを利用して、メッセージを送受信したり、ウェブブラウザを利用してサイトを表示できます。

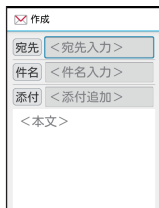
## ドコモメール

ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。送受信したメールはドコモのメールサーバーに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。  
[https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo\\_mail/](https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/)
- よろこそドコモメールへの画面が表示されたら(OK)を押してください。

## ドコモメールの作成・送信

### 1 新規メール作成



### 2 宛先欄を選択▶宛先の追加方法を選択▶(確定) (確定)

**名前:** 電話帳からメールアドレスを選択します。

**グループ:** グループを選択します。(グループに登録された電話帳のすべてのメールアドレスにメールを送信します。)

**メール送信履歴:** メール送信履歴からメールアドレスを選択します。

**メール受信履歴:** メール受信履歴からメールアドレスを選択します。

**直接入力:** メールアドレスを直接入力します。

- さらに宛先を追加する場合は(追加)を押します。CcやBccを追加する場合は、Cc欄やBcc欄を選んで(追加)を押します。
- 宛先を削除するには、(削除)を押して削除方法を選択します。

### 3 件名欄を選択▶件名を入力

### 4 本文欄を選択▶本文を入力

### 5 (送信)を押す

メールが送信されます。

- 下書きとして保存する場合は、(下書き保存)を押します。

## 添付ファイルの追加

ドコモメールに静止画や動画などを添付して送信できます。

●ファイルによっては添付できない場合があります。

### 1 メール作成画面で添付欄を選択する

### 2 項目を選択

**写真・画像**:撮影した静止画やダウンロードした画像を添付します。

**動画**:動画を添付します。

**電話帳**:電話帳に登録されている連絡先を添付します。

**カメラ起動**:静止画を撮影して添付します。

**その他のファイル**:本体やmicroSDカード内のファイルを添付します。

### 3 (確定)を押す

## 添付ファイルの削除

### 1 メール作成画面で添付欄を選択する

### 2 添付ファイルを選んで (削除) ▶ 1件削除 ▶ はい ▶ (確定)

●添付ファイルを複数削除する場合は「選択削除」、全件削除する場合は「全件削除」を選択します。

## 本文の装飾(デコメール®)

文字の色・大きさや背景色を変えたり画像を挿入したりできます。

### 1 メール作成画面で本文欄を選択する

### 2 (サブメニュー) ▶ 装飾 ▶ 装飾方法を選択

## 本文入力画面のサブメニュー

### 1 メール作成画面で本文欄を選択する

### 2 (サブメニュー) ▶ 項目を選択

**デコメ**:デコメ絵文字®を挿入します。

**装飾**:本文を装飾します。(P.60参照)

**挿入**:定型文や署名などを挿入します。

**コピー**:文字を選択してコピーします。

**切り取り**:文字を選択して切り取ります。

**貼り付け**:コピー／切り取りした文字を貼り付けます。

**元に戻す**:直前の操作を元に戻します。文字を削除した場合は、5回分に戻せます。

**完了**:本文の編集を終了します。

**改行入力**:改行を入力します。

**スペース入力**:スペースを入力します。


**文字入力設定**:P.43参照。

**各種設定**:P.43参照。

## ドコモメールの受信

ドコモメールは自動的に受信します。

### 1 ドコモメールを受信するとステータスバーに「」、待受画面に「」が表示される

●自動で受信しないように設定したい場合は、 ▶ メール設定 ▶ 通信設定 ▶ 自動通信設定で「毎回確認する」または「OFF」を選択します。

### 2 待受画面で「」を選択

## メール/SMS問い合わせ

圏外や電源が入っていないときなどに送られてきたドコモメールやSMSをセンターに問い合わせせて受信できます。

### 1 を1秒以上押す

## ドコモメールの設定

### 1 ▶メール設定

### 2 項目を選択

**音/バイブ/イルミネーション:**メール受信時の音、バイブレータ、イルミネーションを設定します。

**表示カスタマイズ:**表示に関する設定をします。

**通信設定:**メールの自動受信や添付ファイルの自動受信などを設定します。

**Wi-Fi・dアカウント設定:**Wi-Fiとdアカウントに関する設定をします。

**デコメ/引用/署名/定型文:**署名や定型文などの設定をします。

**海外設定:**海外ローミング時の通信に関する設定をします。

**詳細設定:**メール削除時の動作などを設定します。

**ドコモメール設定サイト:**メール設定のサイトに接続し、メールアドレスの設定や確認などをします。

**迷惑メールおまかせブロック:**迷惑メールと判定されたメールの確認や設定などをします。

**マイアドレス:**自分のメールアドレスを確認できます。

**一時データ削除:**端末内の一時データを削除します。

## SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス(SMS)」をご覧ください。

●海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。

### 1 ▶メール▶SMS

### 2 (新規作成)▶宛先の入力方法を選択

**電話帳から選択:**宛先を電話帳から選択します。


**電話番号を直接入力:**宛先を直接入力します。

### 3 本文欄を選択▶本文を入力

### 4 (送信)を押す

SMSが送信されます。

#### お知らせ

- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」( を1秒以上押す)、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。)
- 本文に特殊記号を入力した場合、半角スペースに置き換えられることがあります。
- 「186」/「184」を付けての送信はできません。

## SMSの表示



### 1 ▶ メール ▶ SMS

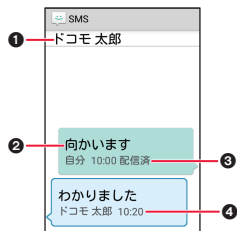
宛先/送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。



- ①宛先/送信元
- ②未読メッセージ件数



### 2 スレッドを選択

- スレッドを削除する場合は、 (サブメニュー) ▶ 削除 ▶ 削除したいスレッドにチェックを付ける ▶  (削除) ▶ はいと操作します。



- ①宛先/送信元
- ②メッセージ
- ③受取確認通知
- ④送受信日時

### 3 メッセージを確認する

- 返信する場合は、 (返信)を押します。
- 削除する場合は、削除したいメッセージを選んで  (削除) ▶ はいと操作します。

## SMSの設定

### 1 ▶ メール ▶ SMS

### 2 (サブメニュー) ▶ 設定 ▶ 項目を選択

**着信音**:SMS受信時の着信音を設定します。

**受信時の振動**:SMS受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

**着信ランプ**:SMS受信時に着信/充電ランプを点灯するかどうかを設定します。

**通知時間**:SMS受信時の通知時間を設定します。

**受取確認通知**:送信するメッセージの受取確認を通知します。

**メッセージセンター番号**:メッセージセンター番号を編集できます。(通常は変更する必要はありません。)

## お知らせ

### <受取確認通知>

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かない場合があります。



## ウェブブラウザ

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

- カーソル枠が表示されない項目などがあった場合は、ポインタを利用して操作してください。
- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

### dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトやお客サポートなどに簡単にアクセスすることができます。

#### 1 ▶dメニュー・検索












ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、「利用する」を選択します。

#### お知らせ



- dメニューのご利用には、パケット通信(LTE/3G)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続には、別途パケット通信料がかかります。
- dメニューで紹介しているサイトには、一部有料のコンテンツが含まれる場合があります。

### サイト画面の操作



- ページの再読み込み/停止をする場合は、 (サブメニュー)▶再読み込み/停止と操作します。
- 拡大/縮小する場合は、 (サブメニュー)▶拡大縮小▶▶と操作します。  
を押しても調節できます。
- 文字サイズを変更する場合は、 (サブメニュー)▶文字サイズ変更▶▶と操作します。  
を押しても調節できます。
- ページの情報を表示する場合は、 (サブメニュー)▶ページ情報と操作します。
- ヘルプを表示する場合は、 (サブメニュー)▶ヘルプと操作します。

### ポインタの利用

ポインタを利用して項目を選択したりドラッグしたりできます。

- ポインタ()はで操作できます。
- ドラッグモードは、項目を移動したりスライドしたりする場合などに利用できます。

#### 1 サイト画面で (サブメニュー)▶設定▶ポインタ設定▶通常モード/ドラッグモード






- ポインタを利用しない場合は「OFF」を選択します。
- サイト画面でを1秒以上押しても、ポインタの表示/非表示を切り替えられます。
- ポインタ表示中にを1秒以上押しても、通常モードとドラッグモードを切り替えられます。

### サイトの検索

#### 1 検索欄を選択▶キーワードを入力▶検索


### 新しいタブを開く

#### 1 サイト画面で (サブメニュー)▶新規タブ作成


- 複数のタブを表示中に新しくタブを開く場合は、サイト画面で (サブメニュー)▶タブ一覧▶ (サブメニュー)▶新規タブ作成を選択します。
- タブを切り替える場合は、サイト画面で (サブメニュー)▶タブ一覧▶切り替えたいタブを選択します。
- タブを閉じる場合は、サイト画面で (サブメニュー)▶タブ一覧▶閉じたいタブを選んで (閉じる)を選択します。

## URL入力／Web検索


URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。

1 サイト画面で  (サブメニュー) ▶ URL入力／Web検索

2 URL／キーワードを入力

- キーワードを入力して検索するときは、サイト画面で  (サブメニュー) ▶ 設定 ▶ 高度な設定 ▶ 検索エンジンの設定で設定した検索エンジンを使用します。

## 画像の保存

1 サイト画面で  (サブメニュー) ▶ 画像保存モード ▶ 画像を選択

## 文字のコピー

1 サイト画面で  (サブメニュー) ▶ テキストコピー ▶ 始点を選択 ▶ 終点を選択


## リンクの利用

選択したリンクを新しいタブで開いたり、リンク先を保存できます。

1 サイト画面でリンクを選ぶ ▶  (サブメニュー) ▶ このリンク



2 新しいタブで開く／リンク先を保存／URLをコピー

## ページ内の文字の検索

1 サイト画面で  (サブメニュー) ▶ ページ検索 ▶ キーワードを入力して検索


## ブックマークの利用

### ブックマークの登録

1 サイト画面で  (サブメニュー) ▶ ブックマークへ登録 ▶  (保存)


### ブックマークからサイト表示

1  ▶ Bookmarks ▶ ブックマークを選択

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、「利用する」を選択してください。
- サイト画面で  (サブメニュー) ▶ ブックマーク一覧でも表示できます。

### サイト閲覧履歴の利用

1  ▶ サイト閲覧履歴 ▶ 閲覧時期、または「よく使用」を選択 ▶ 履歴を選択

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、「利用する」を選択してください。
- サイト画面で  (サブメニュー) ▶ 履歴でも表示できます。

## Google検索

URLやキーワードを入力してサイトを検索できます。


### 1 ▶ Google検索 ▶ 検索ボックスを選択 ▶ キーワード / URLを入力 ▶

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、「利用する」を選択してください。

## ブラウザ起動


web設定の「ホームページを設定」に設定したページに接続できます。

### 1 ▶ ブラウザ起動

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、「利用する」を選択してください。
- サイト画面で  (サブメニュー) ▶ ホームでも表示できます。

## ブラウザ設定

### 1 ▶ web設定 ▶ 項目を選択

- ポインタ設定:** ポインタを表示するかどうかを設定します。(P.63参照)
- ホームページを設定:** ホームページを設定します。
- 画像の読み込み:** ウェブページに画像を表示するかどうかを設定します。
- ファイル保存先:** ファイルの保存先を設定します。
- プライバシーとセキュリティ:** 利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- ユーザー補助:** テキストの倍率や最小フォントサイズなど画面表示について設定します。
- 高度な設定:** サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定をします。
- サイト画面で  (サブメニュー) ▶ 設定でも表示できます。

## ダウンロード履歴の表示



ダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

### 1 サイト画面で (サブメニュー) ▶ ダウンロード ▶ 履歴を選択

# カメラ

## カメラをご利用になる前に

### 撮影時の留意事項

- 撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
- 撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがつかないように注意してください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くとも像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起すことがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があります。撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
- 日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがあります。故障ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
-  (撮影) を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、 (撮影) を押したときに画面に表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- microSDカードへ保存中にmicroSDカードを取り外さないでください。本端末、microSDカードの故障の原因となります。
- ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。

- 本体またはmicroSDカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
- microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。(P.111参照)

### ■著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得もしくは本製品に搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は著作権法により保護されています。従って、第三者が著作権を有する著作物は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上で認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信、転用、頒布などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

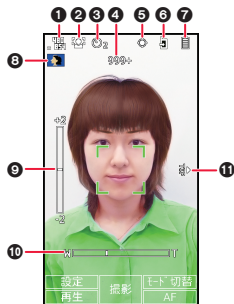
●お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

■カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

### お知らせ

- 撮影画面で約1分間何も操作しないと、自動的にカメラが終了します。
- シャッター音の音量を変更したり消去することはできません。

## 撮影画面の見かた



- 1 記録サイズ
- 2 フォーカスモード
- 3 セルフタイマー
- 4 撮影可能枚数／撮影可能時間
- 5 位置情報付与
- 6 保存先
- 7 電池残量
- 8 撮影モード
  - 被写体や撮影状況を自動で判別し、切り替わります。
- 9 明るさ調整
- 10 ズーム
- 11 天地向き
  - 画面を横向きにしているときのみ表示されます。

## カメラの撮影サイズ

### ■静止画撮影

5M: 1944×2592  
3.7Mワイド: 1458×2592  
待受: 480×854  
VGA: 480×640


### ■動画撮影

HD: 720×1280  
VGA: 480×640  
QVGA: 240×320


## 静止画の撮影


1 を押す


2 カメラを被写体に向ける

明るさの調整: 

ズーム: 

設定メニューを表示:  (設定)

フォーカスをロック:  (AF)

撮影した静止画を表示:  (再生)

モード切り替え:  (モード切替) ▶ 静止画撮影・動画撮影・バーコードリーダー


3  (撮影)を押す

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が保存されます。


## 動画の撮影


1  ▶ カメラ / TV / 音楽 ▶ ビデオ

2 カメラを被写体に向ける

明るさの調整: 

ズーム: 

設定メニューを表示:  (設定)

撮影した動画を表示:  (再生)

モード切り替え:  (モード切替) ▶ 静止画撮影・動画撮影・バーコードリーダー

3  (録画)を押す

録画開始音が鳴り、動画撮影を開始します。

4  (停止)を押す

録画終了音が鳴り、撮影した動画が保存されます。

## 撮影の設定

### 1 撮影画面で (設定) を押す

### 2 項目を選択

**記録サイズ:** 撮影サイズを設定します。

**フォーカスモード:** フォーカスを設定します。

**セルフタイマー:** セルフタイマーを設定します。

**表示設定:** 撮影画面にアイコンやガイドラインを表示するかどうかを設定します。

**位置情報付与:** 位置情報を付与するかどうかを設定します。

**保存先設定:** 保存先を設定します。

## バーコードリーダー

カメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。

データを使って電話をかけたり、メールの作成、インターネット接続などができます。

■ JANコードとは



- 幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
- JAN8、JAN13のJANコードを読み取ることができます。

■ QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

### コード読み取り


#### 1 ▶ カメラ / TV / 音楽 ▶ バーコードリーダー

-  (AF) を押すと、フォーカスを合わせます。
- モードを切り替える場合は、 (モード切替) ▶ 静止画撮影・動画撮影・バーコードリーダーと操作します。


## 2 コードをガイド枠に合わせる



読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。
- 読み取り画面表示中、無操作状態が1分間続くと、バーコードリーダーは終了します。
- 読み取り履歴が存在する場合は、 (履歴)が表示されます。
- QRコードには、分割されたデータ(最大16個)を読み取って1つのデータとなるものがあります。操作を繰り返し、すべてのQRコードを読み取ると読み取り結果画面が表示されます。

## 3 読み取り結果を利用する

- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果を選択すると利用できます。
-  (コピー)を押すと読み取り結果をコピーできます。

### お知らせ

- 傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。



# ツール／アプリ

## みまもりメール

本端末を開いた回数や歩数、電池残量が記載されたSMSを、設定した時刻に登録した宛先に自動的に送信します。

離れて暮らす家族や子供などの利用状況を毎日知ることができます。

- 1日に3回まで送信でき、1回に3件の宛先に送信できます。
- みまもりメールに記載される利用状況は、前回送信時から送信時刻までの利用状況です。(電池残量は、みまもりメール送信時点の電池残量です。)
- 送信時刻に本端末の電源が入っていない場合、みまもりメールは送信されず、みまもり履歴にも記憶されません。
- 電池パックを外した場合、電池パックを外した日に送信されるみまもりメールは実際の利用状況と異なる場合があります。
- みまもりメール送信時にメール送信画面は表示されません。

## 利用者の登録

みまもりメールに表示する利用者の名前を登録します。

### 1 ▶ メール ▶ みまもりメール設定 ▶ みまもりメール設定 ▶ 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を入力

みまもりメール設定画面が表示されます。

- 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を設定していない場合は、「暗証番号」または「パスワード」を選択して設定します。
- 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)についてはP.99参照。

### 2 利用者の名前 ▶ 利用者名を入力

#### お知らせ



- 利用者の名前が登録されていない状態でみまもりメールを送信すると、「<未登録>」とみまもりメールに表示されます。

## みまもり宛先の登録



みまもりメールを送信する宛先を登録します。

宛先は3件まで登録できます。


### 1 みまもりメール設定画面 ▶ みまもり宛先設定

- 電話番号が登録されている宛先には「お試し」が表示されます。 (お試し)を押すと、本端末の利用状況が記載されたSMS作成画面が表示され、 (送信)を押すと送信できます。

### 2 <未登録>を選択 ▶ 電話番号を入力

-  (サブメニュー)を押して電話番号を電話帳から呼び出すこともできます。
- 登録済みの宛先を削除する場合は、 (サブメニュー)を押して「1件削除」を選択します。

#### お知らせ

-  (お試し)を押して作成されるSMSを編集しても、実際に送信されるみまもりメールには編集した内容は反映されません。
- 電話番号を電話帳から選択して登録した場合、電話帳の電話番号を変更しても本機能に登録した電話番号は変更されません。登録した電話番号を変更したい場合は、再度登録し直してください。
- 宛先をすべて削除した場合、「みまもり時刻設定」はOFFになります。

## みまもり時刻の設定

みまもりメールを送信する時刻を設定し、それぞれ送信するかどうか(ON/OFF)を設定します。

送信時刻は3件まで設定できます。

### 1 みまもりメール設定画面▶みまもり時刻設定

- 時刻が入力されている場合は、 (ON/OFF) を押しごとにON/OFF できます。

### 2 送信時刻を選択▶時刻を入力▶ (OK)

### 3 (ON/OFF) でON/OFFを切り替える

- 歩数計がOFFに設定されている場合は、ONにするかどうかの確認画面が表示されます。

#### お知らせ

- 「みまもり宛先設定」の宛先が未登録の場合は、送信時刻をONに設定できません。

## 履歴確認

みまもりメールの1週間分の送信履歴を確認できます。  
各宛先ごとに正しく送信できたか確認できます。

### 1 ▶メール▶みまもりメール設定▶みまもり履歴確認

みまもり履歴確認	
2017年02月10日(金)	
送信時刻1	OK
09:00:00:00:00:00	OK
送信時刻2	OK
09:00:00:00:00:00	OK
送信時刻3	送信不可
09:00:00:00:00:00	送信不可

OK:送信成功

NG:圏外や通信エラーなどのため送信失敗

送信不可:機内モードなどのため送信失敗

#### お知らせ

- 送信時刻1~3は、それぞれ1日1回の送信分のみ記憶されます。みまもり時刻設定を変更して同日中にそれぞれ再送信した場合は、前回送信した履歴が削除されます。

## みまもりメールを受信すると

みまもりメールには、登録した利用者名や送信日時、端末の利用状況が記載されています。

ドコモ太郎さんのご  
利用状況  
2017/02/10(金)  
10:00時点  
歩数 100歩  
開いた回数 20回  
電池 83%  
090-XXXX-XXXX 10:00

### お知らせ

- みまもりメール本文に記載されている「開いた回数」は、連続して開閉を行った場合、実際の回数と異なることがあります。
- 歩数計がOFFに設定されている場合は、みまもりメール本文に記載される「歩数」は「歩数計OFF」と表示されます。

## ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声を受信することができます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会：

<http://www.apab.or.jp/>

### ■ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

### ■放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外/圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
  - 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
  - トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- 端末の向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

## 1

① ▶ カメラ / TV / 音楽 ▶ TV(ワンセグ)

## 2 項目を選択

**ワンセグ視聴**:P.74参照。

**チャンネルリスト選択**:チャンネルリストを表示して、受信する放送局を設定します。**メニュー**(サブメニュー)からタイトルの編集や削除などが行えます。

**チャンネル設定**:P.74参照。

**操作ガイド**:ワンセグ操作ガイドを表示します。

### チャンネルリストの作成

ワンセグを利用するには、あらかじめチャンネルリストを作成し、チャンネルリストを1つ選択しておく必要があります。

●チャンネルリストは10件まで登録できます。

## 1 **メニュー**▶カメラ/TV/音楽▶TV(ワンセグ)

## 2 チャンネル設定▶項目を選択

**地域選択**:地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストに登録します。

●地域一覧に地域が無い場合は、「現在地から設定」をしてください。

**現在地から設定**:現在地で受信可能なチャンネルを検索し、検出されたチャンネルをチャンネルリストに登録します。地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。

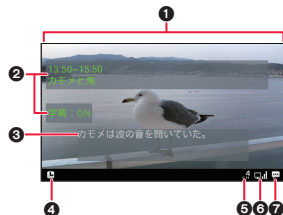
**チャンネル設定初期化**:チャンネルリストをすべて削除し、未登録の状態にします。

### ワンセグ視聴

## 1 **メニュー**▶カメラ/TV/音楽▶TV(ワンセグ)▶ワンセグ視聴

- 視聴画面は横画面で表示されます。
- 電源**を1秒以上押しでも起動できます。
- チャンネルが設定されていない場合のみ、チャンネルリスト作成画面が表示されます。

### 視聴画面について



- 1 映像
- 2 番組情報
- 3 字幕
- 4 オフタイマー
- 5 チャンネル(リモコン番号)
- 6 放送電波の受信レベル(目安)  
受信レベルを「**電波**」~「**電波**」で表示します。  
放送圏外の場合は「**電波**」が表示されます。
- 7 字幕受信  
字幕情報を受信しているときは「**電波**」が表示されます。

### お知らせ

- 視聴中に着信があった場合は、通話終了後に視聴を再開します。
- データ放送および番組表には対応していません。

## 視聴中の操作

音量調節: \*

チャンネルの切替: \* / ~ 、、

チャンネルサーチ: \* (1秒以上)

全画面表示: (全画面)

ワンセグの終了:

※ 端末を横にした状態のボタンで表記しています。

## 視聴画面のサブメニュー

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

### 1 視聴画面で (サブメニュー) を押す

### 2 項目を選択

**チャンネル情報:** リモコン番号やチャンネル名などを表示します。

**番組情報表示:** 視聴している番組の情報を表示します。

**チャンネルリスト選択:** チャンネルリストを表示して、受信する放送局を設定します。 (サブメニュー) からタイトルの編集や削除などが行えます。

**チャンネル設定:** P.74参照。

**チャンネル追加登録:** 視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録します。

**字幕表示設定:** 字幕のON/OFFを設定します。

**オフタイマー:** ワンセグが自動で終了するまでの時間を設定します。

**主/副音声切替:** 主/副音声の設定をします。

**音声切替:** 音声を切り替えます。切り替えできる音声があるときのみ操作できます。

**ダイレクト選局:** チャンネル(リモコン番号)を直接選択できます。

**サービス選局:** 同じ放送局で複数のサービス(番組)が放送されているときに、どのサービスを視聴するかを選択します。

## ミュージック

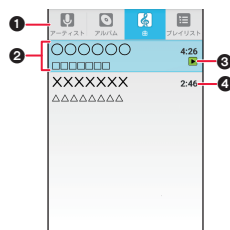
本体メモリやmicroSDカードに保存された音楽データを再生することができます。

- 再生できる音楽データの主なファイル形式は下記となります。  
aac、amr、flac、imelody、midi、mp3、mp4、mpeg、ogg、sp-midi、wav

### ■音楽データの取り扱いについて

microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご使用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。

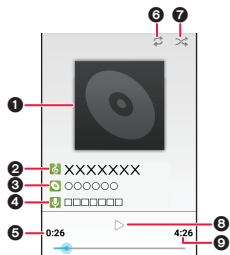
### 1 ▶ カメラ / TV / 音楽 ▶ 音楽(ミュージック)



#### ① カテゴリ

- でカテゴリを切り替えます。
- ② タイトル/アーティスト名/アルバム名
- ③ 再生中/一時停止中の音楽データ
- ④ 総再生時間

## 2 音楽データを選択



- ① ジャケット画像
- ② 曲名
- ③ アルバム名
- ④ アーティスト名
- ⑤ 再生時間
- ⑥ リpeat
- 「🔄」: 1曲リピート / 「🔄」: 全曲リピート / 「🔄」: リpeat OFF
- ⑦ シャッフル
- 「🔀」: シャッフルOFF / 「🔀」: シャッフルON
- ⑧ 「▶」: 再生中 / 「⏸」: 一時停止中
- ⑨ 総再生時間

### 音楽データ再生中の操作

- 音量調節: 🔊
  - 前の音楽データを再生\* / 頭出し: ⏮
  - 次の音楽データを再生: ⏭
  - 巻戻し: ⏮ (押し続ける)
  - 早送り: ⏭ (押し続ける)
  - バックグラウンド再生: 🎧▶ はい
- \* 再生時間が約0秒のときに前の音楽データを再生します。

### 音楽データ一覧画面のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

## 1 音楽データ一覧画面で🔍(サブメニュー)を押す

## 2 項目を選択

**すべて再生:** 表示中の音楽データをすべて再生します。

**すべてシャッフル:** 表示中の音楽データをすべてシャッフルして再生します。

**プレイリスト保存:** 表示中の音楽データを新しいプレイリストに保存します。

**再生:** 音楽データを再生します。

**プレイリストに追加:** 選択中の音楽データをプレイリストに追加します。  
プレイリストが無い場合はプレイリストを作成して追加します。  
(P.77参照)

**プレイリスト内削除:** 音楽データをプレイリスト内から削除します。

**着信音に設定:** 音楽データを着信音に設定します。

**削除:** 音楽データを削除します。

**検索:** 音楽データをウェブブラウザで検索したり、端末の「ミュージック」内を検索したりします。

## プレイリスト

### プレイリストの作成

- 1 音楽データ一覧画面でプレイリストに追加したい音楽データを選んで(メニュー)▶プレイリストに追加
- 2 新規▶プレイリスト名を入力▶保存

### プレイリスト名の変更

- 1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブを選択
- 2 変更したいプレイリストを選んで(メニュー) (サブメニュー)  
▶名前を変更
- 3 プレイリスト名を入力▶保存

### 音楽データの並べ替え

- 1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブを選択
- 2 プレイリストを選択▶並べ替えたい音楽データを選んで(移動)▶変更先を選んで(確定)

## プレイリストの削除

- 1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブを選択
- 2 削除したいプレイリストを選んで(メニュー) (サブメニュー)  
▶削除▶はい

## おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。

また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

## おサイフケータイ対応サービスの利用

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、利用したいおサイフケータイ対応サービスの設定をしてください。

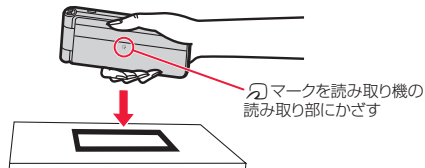
### 1 おサイフケータイ

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

### 2 利用したいサービスを選ぶ

サービス一覧から利用したいサービスを選択して設定してください。

### 3 端末の マークを読み取り機にかざす



### お知らせ

- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本端末の電源を切っても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。



## かざしてリンク対応サービスの利用




### 1 ▶設定▶外部接続▶NFC設定

### 2 「Reader／Writer, P2P」にチェックを付ける

### 3 NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに マークをかざす

#### 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。

-  マークを対向機にかざす際には、強くぶつかけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
-  マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
-  マークと対向機の間には金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

## おサイフケータイのロック

おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- おサイフケータイのロック／ロック解除には専用の暗証番号を使用します。はじめてロックを行う際に暗証番号を設定します。暗証番号は4～8桁の番号を設定できます。

### 1 ▶おサイフケータイ▶ (ロックする)

- 暗証番号を設定していない場合は、暗証番号を入力します。
- 暗証番号を変更する場合は、「暗証番号変更」を選択して新しい暗証番号を設定します。

### 2 OK▶OK

ステータスバーに「」が表示されます。

#### ロック解除

### 1 ▶おサイフケータイ▶ロック解除▶暗証番号を入力▶OK▶OK

- 暗証番号の入力を5回連続して間違えると待受画面に戻ります。

## i コンシェル

端末がまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートするサービスです。

あなたのスケジュールやお住まいのエリア、現在地に応じて、雨雲アラームや鉄道運行情報、おでかけスポットなど、毎日の生活に役立つ情報を最適なタイミングでお届けします。

- i コンシエルの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

### 1 i コンシェル


## P-SQUARE

パナソニックの携帯電話用サイトに接続します。さまざまな情報やコンテンツを利用できます。

### 1 P-SQUARE

### 2 画面に従って操作する

## i チャネル

ニュースや天気などの情報が i チャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、を押すことで最新情報がチャンネル一覧画面に表示されます。

また、i チャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャンネル」とIP(情報サービス提供者)が提供する「おこのみチャンネル」の2種類があります。「ベーシックチャンネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。

好きなチャンネルを登録し利用できる「おこのみチャンネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャンネル」「おこのみチャンネル」共に詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- i チャネルの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。


1 を押す

2 項目(リンク先)を選択

## 地図


地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でお出かけをサポートします。


- 一部の機能は、ドコモ地図ナビ(有料)のお申し込みが必要です。
- 地図の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。



1  ツール ▶ 地図



### 地図表示中の操作


地図のスクロール: 


場所の指定: 

現在地を表示: 

地図の拡大/縮小:  / 

地図の回転:  / 

北を上向きに表示: 

現在地付近の渋滞情報を確認: 

### お知らせ

- Wi-Fi接続中は、環境によっては現在地が取得できない場合があります。

## 目的地の検索

1 地図表示中に  (検索) ▶ キーワードを入力 ▶ 

- 表示されているカテゴリから検索することもできます。

2 項目を選択 ▶ 画面に従って操作する

## 電卓

電卓を表示して四則演算を行います。

### 1 ツール▶電卓

### 2 以下の操作で計算を行う

: +

: -

: ×

: ÷

: =

: 小数点

: %

(C) : 直前に入力した数字を取り消す。

(AC) : 入力した計算をすべて取り消す。

## アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータ、イルミネーションでお知らせします。

### アラームの設定

アラームは12件まで登録できます。

### 1 ツール▶アラーム

- すでにアラームが登録されている場合は、を押すごとにON/OFFできます。
- 新しくアラームを追加する場合は、アラーム一覧画面で (サブメニュー)▶追加と操作します。

### 2 時刻欄を選択▶時刻を入力▶OK

### 3 各項目を設定▶ (登録)

### 4 を押してON/OFFを切り替える

### アラームの削除

### 1 アラーム一覧画面で (サブメニュー)▶1件削除▶OK

- アラームを複数削除する場合は、 (サブメニュー)▶選択削除▶アラームを選択▶ (削除)▶OKと操作します。

### お知らせ

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。

## アラームを止める

アラーム設定時刻になるとアラームが動作します。

### 1 (停止)を押す

- (停止)を押してもアラームが止まりません。
- スヌーズが設定されているときは (停止) ▶ OKと操作してスヌーズを停止します。(スヌーズ)を押すとアラームは停止しますが、スヌーズは解除されません。

## マナーボタン(サイドボタン)設定

アラーム鳴動中に (マナー)を押したときの動作を設定します。

### 1 アラーム一覧画面で (サブメニュー) ▶ 設定

### 2 マナーボタン ▶ スヌーズ / 解除 / 何もしない

## マナーモード中の鳴動設定

マナーモード中にアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。

### 1 アラーム一覧画面で (サブメニュー) ▶ 設定

### 2 マナー時鳴動 ▶ 音を鳴らす / 音を鳴らさない / バイブレーション

## スケジュール

1か月単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。

## スケジュールの確認

### 1 (メニュー) ▶ ツール ▶ スケジュール

カレンダー画面が表示されます。

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して「クラウドサービスを設定する」/「後で設定する」を選択します。



- ① 表示している年月
- ② スケジュール登録ありマーク
- ③ スケジュール


### 2 日付を選択

スケジュール一覧画面が表示されます。

### 3 スケジュールを選択

スケジュール詳細画面が表示されます。


## スケジュールの登録

**1** カレンダー画面またはスケジュール一覧画面で  (新規作成) を押す

**2** 各項目を設定 ▶  (保存)

## スケジュール表示中のサブメニュー

●メニューの項目は、表示中の画面によって異なります。

**1** スケジュール表示中に  (サブメニュー) ▶ **項目を選択**

**新規作成**: P.84参照。

**シール**: シールが設定されたスケジュールを作成します。

**編集**: 登録済みのスケジュールを編集します。

**前月**: 前月に移動します。

**翌月**: 翌月に移動します。

**日付移動**: 指定した日付に移動します。

**表示条件**: スケジュールの表示条件を設定します。

**メモ一覧へ**: メモ一覧を表示します。

**i スケジュール一覧へ**: i スケジュール一覧を表示します。

**i コンシェルへ**: i コンシェル一覧を表示します。

**メール添付**: スケジュールをメールで送信します。

**削除 / 1件削除 / 全件削除**: スケジュールを削除します。

**画像保存**: 画像を保存します。

**設定**: P.84参照。

## スケジュールの設定

●設定の項目は、表示中の画面によって異なります。

**1** スケジュール表示中に  (サブメニュー) ▶ **設定**

**2** **項目を選択**

**「今日の予定」お知らせ設定**: 今日の予定をお知らせするかどうかを設定します。

**アラーム**: スケジュールアラームの音やバイブレーションなどを設定します。

**誕生日データ更新**: 誕生日データを更新します。

**クラウドと同期**: クラウドと同期させます。

**クラウド設定**: クラウドの設定をします。

**ヘルプ**: ヘルプを表示します。

**アプリ情報**: アプリケーション情報を表示します。

## メモ

メモを作成して表示できます。

### メモの確認

#### 1 ツール ▶ メモ

メモ一覧画面が表示されます。

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して「クラウドサービスを設定する」/「後で設定する」を選択します。

#### 2 メモを選択

メモ詳細画面が表示されます。

### メモの登録

#### 1 メモ一覧画面で (新規作成) を押す

#### 2 各項目を設定 ▶ (保存)

### メモ表示中のサブメニュー

- メニューの項目は、表示中の画面によって異なります。

#### 1 メモ表示中に (サブメニュー) ▶ 項目を選択

**新規作成**: P.85参照。

**編集**: 登録済みのメモを編集します。

**表示条件**: メモの表示条件を設定します。

**優先表示**: 優先的に表示するメモを設定します。

**スケジュールへ**: スケジュール画面を表示します。

**i コンシェルへ**: i コンシェル一覧を表示します。

**メール添付**: メモをメールで送信します。

**削除 / 1件削除**: メモを削除します。

**画像保存**: 画像を保存します。

**設定**: P.85参照。

### メモの設定

- 設定の項目は、表示中の画面によって異なります。

#### 1 メモ表示中に (サブメニュー) ▶ 設定

#### 2 項目を選択

**クラウドと同期**: クラウドと同期させます。

**クラウド設定**: クラウドの設定をします。

**ヘルプ**: ヘルプを表示します。

**アプリ情報**: アプリケーション情報を表示します。

## LINE

LINEはいつでも、どこでも、メッセージのやりとりや通話を楽しめるコミュニケーションアプリです。

- LINEを利用するには事前にアカウントの登録が必要となります。利用方法などの詳細についてはLINEのサイトをご参照ください。
- ゲームなどの一部の機能は、本端末ではご利用になれません。

### 1 ツール ▶ LINE

初めて利用する際は、アップデート確認画面やログイン画面などが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。


#### アップデートする

新しいバージョンのLINEがあるかどうかを確認してアップデートできます。

### 1 ツール ▶ 「LINE」を選んで (アップデート) ▶ 確認する


#### ポインタモードを利用する

項目などを選択する際にはポインタモードが利用できます。

-  を押すごとにポインタモード、フリックモード、カーソルモードが切り替わります。

例：無料通話を実行する

### 1 トーク画面で を数回押してポインタモードに切り替える


「」が表示されます。

### 2 で「」を「」に移動して を押す

### 3 で「」を「無料通話」に移動して を押す


#### フリックモードを利用する

項目などを移動する際にはフリックモードが利用できます。

-  を押すごとにポインタモード、フリックモード、カーソルモードが切り替わります。

例：プロフィール写真をトリミングする

### 1 プロフィール写真の登録画面で を数回押してフリックモードに切り替える


「」が表示されます。

### 2 で「」をトリミング枠の四隅の矢印に移動して を押す

「」が「」に変わります。

### 3 で「」を拡大／縮小したい位置に移動して を押す

トリミング枠が縮小／拡大されます。

- トリミング枠の位置を移動したい場合は、トリミング枠の内側に「」を移動して同様の操作を行います。



## 歩数計

端末を持ち歩いている間の歩数を計測し、計測結果に基づいて歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量などを表示します。

### ■歩数計利用時のご注意

- キャリングケース O2(別売)に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。
- かばんなどに入れるときは、固定できるポケットや仕切りの中に入れてください。

### ■計測について

- 一定のペースで歩行していただくと、より正確に歩数を計測できます。毎分100~120歩程度で歩くことをおすすめします。
- 歩きかたや計測できない状況などで歩数に誤差が生じる場合があります。また、歩行距離、消費カロリー、脂肪燃焼量は歩数と歩行時間、入力した体重、歩幅をもとに算出されます。あくまで目安としてご活用ください。
- 誤カウントを防ぐため、歩き始めや歩くペースを変えた直後は数値が変わりません。目安として8歩以上歩くと、そこまでの歩数が一度に加算されます。
- 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗ったときは、誤カウントをする場合があります。
- 以下の場合には歩数が正確に計測されないことがあります。
  - 端末を入れたかばんが足や腰に当たっていたり、端末を腰やかばんからぶら下げたりして不規則に動くとき
  - すり足のよきな歩きかたをしたり極端にゆっくり歩くなど、不規則な歩き方をしたとき
  - 歩行以外のスポーツやジョギングをしたとき
  - バイブレータ動作中のとき




## 1日の歩数を表示

歩数を計測するには、「歩数計ON/OFF」にチェックを付けます。(お買い上げ時はチェックが外れています。)歩数の計測はチェックを外すまで常に計測されます。

- 待受画面や背面ディスプレイで歩数を確認することもできます。(P.30、P.33参照)

## 1 ツール 歩数計 1日の歩数・距離

今日の歩数、距離、消費カロリー、脂肪燃焼量が表示されます。

-  (メモ)を押すと、気付いたことや感想などのメモが登録できます。
-  (←)または  (→)を押すと、各項目ごとの目標と目標までの値が表示されます。









### お知らせ

- 目標歩数の値に従ってそれぞれの項目の目標が算出されます。

## 履歴表示

これまでに計測した各項目の値をグラフやリストで確認できます。

### 1 ツール ▶ 歩数計 ▶ 歩数・距離の履歴

-  (  ) または  (  ) を押し、項目が切り替わります。
-  を押し、週間表示と月間表示が切り替わります。
-  を押し、グラフ表示とリスト表示が切り替わります。

## ランキング表示

これまでに計測した各項目の値をランキング形式で表示します。

### 1 ツール ▶ 歩数計 ▶ 歩数・距離ランキング

-  (  ) または  (  ) を押し、項目が切り替わります。

## 歩数計設定

### 1 ツール ▶ 歩数計 ▶ 歩数計設定

**歩数計ON/OFF:** 歩数の計測を開始/停止します。停止しても計測中の歩数はリセットされません。再度開始すると続きとして計測を再開します。

**ユーザ情報設定画面:** 体重と歩幅を設定します。ユーザ情報は歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量の算出に使用します。

**目標歩数画面:** 目標とする1日分の歩数を設定します。

**履歴全削除:** 計測履歴をすべて削除します。端末暗証番号(暗証番号/パスワード)の入力が必要です。

## ボイスレコーダー

音声を録音する機能です。会議中の音声などをメモ代わりに録音できます。

### 1 ツール ▶ ボイスレコーダー

録音データ一覧画面が表示されます。

### 2 (録音) を押す

### 3 (停止) を押す

## ボイスレコーダーのサブメニュー

### 1 録音データ一覧画面で (サブメニュー) を押す

### 2 項目を選択

**タイトル編集:** タイトルを編集します。

**共有:** 録音データを共有します。

**着信音に設定:** 着信音に設定します。


**削除:** 削除します。

**選択削除:** 選択して削除します。

**録音品質を変更:** 録音品質を設定します。


## 世界時計

世界各地の時刻を表示できます。


1  ツール ▶ 世界時計


2  (サブメニュー) ▶ 追加 ▶ 都市を選択 ▶  (追加)

### 都市の並べ替え

1 世界時計の画面で  (サブメニュー) ▶ 時間順 / 名前順

### 都市の削除


1 世界時計の画面で  (サブメニュー) ▶ 選択削除

- 1件削除する場合は都市を選び  (サブメニュー) ▶ 削除 ▶ OKと操作します。


2 都市を選択 ▶  (削除) ▶ OK



## タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1  ツール ▶ タイマー

2 時間を入力 ▶  (開始)

設定した時間が経過すると、アラーム音やバイブレータが鳴動します。 (停止)を押すと鳴動が止まります。

- カウントダウンの途中で停止する場合は  (停止)を押します。
- 設定した時間をリセットする場合は  (リセット)を押します。

### タイマーの設定

1 タイマー画面で  (設定) ▶ 項目を選択

**アラーム音:** アラーム音を選択します。

**バイブレーション:** バイブレーションのON/OFFを設定します。


**名称:** タイマーの名称を変更します。

## ストップウォッチ


ストップウォッチを利用します。ラップタイム(経過時間)とスプリットタイム(合計経過時間)を計測することもできます。

### 1 ツール ▶ ストップウォッチ

### 2 (開始)を押す

- ラップタイムとスプリットタイムを計測する場合は  (ラップ)を押します。

### 3 (停止)を押す

-  (リセット)を押すとタイムがリセットされます。

## トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、ウェブダウンロード、Bluetooth機能、ICタグなど様々な方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

### 1 ツール ▶ トルカ

#### お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth機能でトルカを取得する際には、トルカアプリのBluetooth機能をONにする必要があります。
- ICタグからトルカを取得する際には、本端末の「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる必要があります。(P.79参照)
- コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 更新
  - トルカの共有
  - 地図表示

## データ引き継ぎ

microSDカードを利用して、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンでのバックアップデータを本端末の本体メモリに取り込むことができます。

- microSDカードから復元できるデータは次のとおりです。  
バックアップした機種によって復元できるデータは異なります。
    - 電話帳
    - ブックマーク
    - カレンダー
    - 通話履歴
    - システム設定
    - ミュージックプレイリスト
    - 画像
    - 音楽
    - 動画
    - 文書
    - メール※
- ※メールはドコモメールから取り込みます。

### 1 ツール ▶ データ引き継ぎ

### 2 項目を選択

- 一括復元: バックアップデータを一括で復元します。
- 個別復元: バックアップデータを個別に選択して復元します。

## SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ドコモメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- 本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、静止画・動画などのデータは本体メモリに保存されます。本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本体メモリに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。


### お知らせ

- バックアップまたは復元中に電池パックを取り外さないでください。端末内のデータが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名(電話番号など)が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。

## データをmicroSDカードにバックアップする

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1  ツール ▶ SDカードバックアップ ▶ バックアップ

2 バックアップするデータにチェックを付ける

3  (開始) ▶ 開始する

4 ドコモアプリパスワードを入力 ▶  (確定)


選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

5  (TOP)を押す  
トップ画面に戻ります。


## データを端末に復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- あらかじめバックアップファイルが保存されたmicroSDカードを挿入しておいてください。

1  ツール ▶ SDカードバックアップ ▶ 復元


2 復元するデータ種別の「選択」を選択する

3 復元するデータにチェックを付ける ▶  (設定)

4 「追加」または「上書き」にチェックを付ける

- データ種別によっては、追加／上書きの選択が不要な場合があります。

5  (開始) ▶ 開始する

6 ドコモアプリパスワードを入力 ▶  (確定)

選択したデータが本端末に復元されます。

7  (TOP)を押す  
トップ画面に戻ります。

## ケータイデータお預かりサービス

大切なスケジュール・メモ・トルカなどを自動更新でかんたんにバックアップできます。

- ケータイデータお預かりサービスの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

### 1 ツール ▶ ケータイデータお預かりサービス

- 以降は画面の指示に従って操作してください。









## 取扱説明書

本端末の取扱説明書です。それぞれの機能の説明や操作方法などを確認することができます。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

### 1 ツール ▶ 取扱説明書

- 本アプリの使いかたを表示するかどうかの確認画面が表示された場合は、「はい」または「いいえ」を選択します。

### 2 操作方法などを確認する

- 前後のページへ移動するには  (前へ) /  (次へ) を押します。
- 目次を表示するには  (目次検索) を押します。
- 索引を表示するには  (サブメニュー) ▶ 索引検索と操作します。
- ワード検索をするには  (サブメニュー) ▶ 検索 ▶ 検索したいワードを入力 ▶ 検索と操作します。
- 表示中のページをお気に入りに登録するには  (サブメニュー) ▶ お気に入り登録 ▶ はいと操作します。
- 登録したお気に入りを表示するには  (サブメニュー) ▶ お気に入り確認と操作します。
- 取扱説明書アプリの使いかたを確認するには  (サブメニュー) ▶ 本アプリの使いかたと操作します。

# 本体設定

## 画面・ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

### 待受画面設定

#### 1 設定 ▶ 画面・ディスプレイ ▶ 待受画面設定

#### 2 項目を選択

**壁紙選択**: 待受画面の画像を設定します。

**時計表示**: 時計の表示について設定します。

**カレンダー／歩数計表示**: カレンダーや歩数計を表示するかどうかを設定します。

**i チャンネル表示設定**: i チャンネルを表示するかどうかを設定します。

**マチキャラ設定**: マチキャラを表示するかどうかなどを設定します。

### 背面ディスプレイ設定

#### 1 設定 ▶ 画面・ディスプレイ ▶ 背面ディスプレイ設定

#### 2 項目を選択

**ON**: 背面ディスプレイを表示するかどうかを設定します。

**時計固定表示**: 電話の着信やメールの受信などがあったときでも時計表示のままにするかどうかを設定します。

**時計種類**: 時計の表示パターンを設定します。

**着信相手表示**: 着信中に電話をかけてきた相手の名前(電話帳に登録されている場合)を表示するかどうかを設定します。

●「時計固定表示」のチェックを外すと設定できます。

**メール送信元表示**: メール受信時に送信元を表示するかどうかを設定します。

●「時計固定表示」のチェックを外すと設定できます。

**表示時間**: 背面ディスプレイの表示時間を設定します。

### 明るさプラス

ディスプレイの照明を最大まで明るくします。

#### 1 設定 ▶ 画面・ディスプレイ ▶ 明るさプラス

#### 2 チェックを付ける／外す



## 音／バイブ／マナー

着信音やバイブレータ、マナーモードなどについて設定します。

### 音量

着信音、通知音、音楽・動画、アラームの音量を調整できます。


1 ▶設定▶音／バイブ／マナー▶音量

2 調整したい音の音量を  で調整する

### お知らせ

- 「ボタン確認音」の音量は、「着信音」の音量調整に合わせて調整されます。  
「メール受信」「SMS受信」「充電確認音」の音量は、「通知音」の音量調整に合わせて調整されます。

### 音選択

1 ▶設定▶音／バイブ／マナー▶音選択

2 項目を選択

**音声着信**：音声着信時の音を設定します。

**メール受信**：メール受信時の音については「メール設定」で設定します。  
(P.61参照)

**SMS受信**：SMS受信時の音についてはSMSの設定で設定します。(P.62参照)

**その他通知**：その他の通知受信時の音を設定します。

### その他音設定

1 ▶設定▶音／バイブ／マナー▶その他音設定

2 項目を選択

**ボタン確認音**：ボタンを押した時に音を鳴らすかどうかを設定します。

**充電確認音**：充電開始時や終了時に音を鳴らすかどうかを設定します。

### バイブレータ設定

1 ▶設定▶音／バイブ／マナー▶バイブレータ設定

2 項目を選択

**音声着信**：音声着信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

**メール受信**：メール受信時のバイブレータ動作については「メール設定」で設定します。(P.61参照)

**SMS受信**：SMS受信時のバイブレータ動作についてはSMSの設定で設定します。(P.62参照)

**その他通知**：その他の通知受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

## マナーモード

端末から音が鳴らないように設定できます。

「マナーモード」を選択すると、着信音や操作音は鳴らず、バイブレータが動作します。

「スーパーサイレント」を選択すると、着信音や操作音は鳴らず、バイブレータも動作しません。

「オリジナルマナー」を選択すると、カスタマイズした設定内容で動作します。

### 1 設定 ▶ 音 / バイブ / マナー ▶ マナーモード

## 2 項目を選択



**マナーモード選択:** マナーモードの種類(マナーモード/スーパーサイレント/オリジナルマナー)を選択します。

**オリジナルマナー設定:** オリジナルマナーの内容をカスタマイズします。

## マナーモードを設定 / 解除する

### 1 待受画面で を1秒以上押す

選択したマナーモードの種類(マナーモード/スーパーサイレント/オリジナルマナー)でマナーモードが設定されます。

- 解除する場合は、待受画面で  を1秒以上押します。
- 端末を閉じている場合は、 を1秒以上押して設定 / 解除します。

### お知らせ

- 「マナーモード」では、「バイブレータ設定」の設定にかかわらずバイブレータが動作します。
- 「スーパーサイレント」では、「バイブレータ設定」の設定にかかわらずバイブレータは動作しません。
- 「オリジナルマナー」で「バイブレータ」にチェックが付いていると、「バイブレータ設定」の設定に従ってバイブレータが動作します。「バイブレータ」にチェックが付いていないと、「バイブレータ設定」の設定にかかわらずバイブレータは動作しません。

## 照明・イルミネーション

照明やイルミネーションなどについて設定します。

### 照明設定

### 1 設定 ▶ 照明・イルミネーション ▶ 照明設定

## 2 項目を選択

**明るさ:** 画面の明るさを設定します。

**範囲:** 点灯させる範囲を設定します。

**省電力移行時間設定:** 省電力モードに移行するまでの時間を設定します。

### お知らせ

- 何も操作しないで設定した時間が経過すると省電力モードに切り替わり、ディスプレイの表示が消えます。ただし、起動中の機能によっては省電力モードに切り替わらない場合があります。

## イルミネーション設定

### 1 設定 ▶ 照明・イルミネーション ▶ イルミネーション設定

## 2 項目を選択

**音声着信:** 音声着信時のイルミネーションを設定します。

**メール:** メール受信時のイルミネーション動作については「メール設定」で設定します。(P.61参照)

**端末クローズ:** 端末を閉じたときのイルミネーションを設定します。

**不在着信:** 不在着信がある場合のイルミネーションを設定します。

**SMS:** SMS受信時のイルミネーション動作についてはSMSの設定で設定します。(P.62参照)

**その他通知:** その他の通知受信時のイルミネーションを設定します。

## 文字表示／入力

文字サイズや文字入力機能、バイリンガル表示などについて設定します。

### 文字サイズ

1  ▶ 設定 ▶ 文字表示／入力 ▶ 文字サイズ

2 小／中／大／特大から選択

#### お知らせ

- 画面によっては、設定した文字サイズで表示されない場合があります。

### 文字入力機能

1  ▶ 設定 ▶ 文字表示／入力 ▶ 文字入力機能

2 項目を選択

予測／変換:P.43参照。

辞書:P.44参照。

その他:P.44参照。


### 言語

1  ▶ 設定 ▶ 文字表示／入力 ▶ 言語

2 日本語／English

#### お知らせ

- 言語表示の切り替えには時間がかかる場合があります。
- 英語表示に切り替えたあとで日本語表示に戻す場合は、次の操作を行ってください。

 ▶ Settings ▶ Language/Input ▶ Select language ▶ 日本語

## 時計

時計の日付や表示などについて設定します。

- お買い上げ時は「日付と時刻の自動設定」、「タイムゾーンの自動設定」にチェックが付いていますので、日時を手動で設定する必要はありません。

### 日付と時刻の自動設定

1  ▶ 設定 ▶ 時計 ▶ 日付と時刻の自動設定

2 チェックを付ける／外す

### タイムゾーンの自動設定

1  ▶ 設定 ▶ 時計 ▶ タイムゾーンの自動設定


2 チェックを付ける／外す

### 日付設定

日付を手動で設定します。

- 「日付と時刻の自動設定」のチェックを外すと設定できます。

1  ▶ 設定 ▶ 時計 ▶ 日付設定

2 年月日を入力 ▶  (OK)

## 時刻設定

時刻を手動で設定します。

- 「日付と時刻の自動設定」のチェックを外すと設定できます。

1  ▶ 設定 ▶ 時計 ▶ 時刻設定

2 時刻を入力 ▶  (OK)

### タイムゾーンの選択

タイムゾーンを手動で設定します。

- 「タイムゾーンの自動設定」のチェックを外すと設定できます。

1  ▶ 設定 ▶ 時計 ▶ タイムゾーンの選択

2 都市を選択

### 24時間表示

1  ▶ 設定 ▶ 時計 ▶ 24時間表示

2 チェックを付ける／外す

## ロック・セキュリティ

ロックやセキュリティなどについて設定します。

### 本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。端末暗証番号(暗証番号/パスワード)やネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

#### ■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード(PUK)は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

### 端末暗証番号(暗証番号/パスワード)

本端末の機能の利用を制限するための暗証番号です。端末暗証番号(暗証番号)は4~8桁の番号、端末暗証番号(パスワード)は英字1文字以上を含む4~16桁の英数字を設定できます。(P.100参照)

- 入力した端末暗証番号(暗証番号/パスワード)は「・」で表示されます。

### ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。  
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

### PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.100参照)

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4~8桁の番号(コード)です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- 入力したPINコードは「・」で表示されます。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

### PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。この場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

## ロック

端末を閉じたとき、何も操作しないで省電力モードに移行したとき、電源をオフからオンにしたときにロックをかけます。

### 1 設定 ▶ ロック・セキュリティ ▶ ロック

### 2 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を入力 ▶ ON／OFF

- 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を設定していない場合は、「暗証番号」または「パスワード」を選択して設定します。  
端末暗証番号(暗証番号／パスワード)についてはP.99参照。
- ONに設定した場合は、通知の表示についても設定します。

## ロックを解除する

### 1 ロック画面で端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を入力する

- 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)の入力を5回連続して間違えると、約30秒間ロックを解除できなくなります。約30秒後に再度操作を行ってください。

## 端末暗証番号設定

端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を設定します。

### 1 設定 ▶ ロック・セキュリティ ▶ 端末暗証番号設定

- すでに端末暗証番号(暗証番号／パスワード)が設定されている場合は、現在の端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を入力します。

### 2 項目を選択

**暗証番号**: 4～8桁の数字を端末暗証番号に設定します。

**パスワード**: 英字1文字以上を含んだ4～16桁の英数字を端末暗証番号に設定します。

## SIMカード設定

本端末の電源を入れたとき、PINコードを入力しないと使用できないようになります。

### 1 設定 ▶ ロック・セキュリティ ▶ SIMカード設定

### 2 項目を選択

**SIMカードをロック**: 電源を入れたときにPINコードを入力するかどうかを設定します。

**SIM PINの変更**: PINコードの変更をします。現在のPINコードを入力したあと、新しいPINコードを入力してください。

- PINコードを変更するには、「SIMカード設定」の「SIMカードをロック」にチェックを付けておく必要があります。

### 1 設定 ▶ ロック・セキュリティ ▶ 情報セキュリティ

### 2 項目を選択

**端末の暗号化:** P.101参照。

**パスワードを表示する:** 入力したパスワードを表示するかどうかを設定します。

**端末管理アプリ:** 端末管理アプリの表示や有効/無効を設定します。

**提供元不明のアプリ:** 提供元不明のアプリのインストールを許可するかどうかを設定します。

**ストレージのタイプ:** ストレージのタイプが表示されています。

**信頼できる認証情報:** 証明書の有効/無効や削除を行います。

**ストレージからのインストール(証明書):** ストレージから証明書のインストールを行います。

**認証ストレージの消去:** 証明書をすべて削除します。

**信頼できるエージェント:** 信頼できるエージェントを表示するかどうかを設定します。

**画面の固定:** 特定の機能以外を使用できないように設定します。

**通知へのアクセス:** 通知にアクセスできるアプリを設定します。

**使用履歴へのアクセス:** 使用履歴にアクセスできるアプリを設定します。

**画面がロックされているとき:** 画面がロックされているときに、通知をポップアップ表示するかどうかなどを設定します。

### 端末の暗号化

本端末のすべてのデータを暗号化します。盗難や紛失に備えてデータの保護を強化できます。

- あらかじめ端末暗証番号(暗証番号/パスワード)を設定することをおすすめします。(P.100参照)
- 暗号化すると、端末暗証番号(暗証番号/パスワード)を設定している場合は、本端末の電源を入れるたびに端末暗証番号(暗証番号/パスワード)の入力が必要になります。
- 暗号化を解除するには、「端末初期化」を行って本端末をお買い上げ時の状態に戻す必要があります。(P.109参照)
- 暗号化処理には1時間以上の時間がかかる場合があります。
- 暗号化処理は中断できません。処理を中断すると、一部またはすべてのデータが失われます。
- 暗号化処理を行う際は、電池残量が十分にある状態で、充電しながら操作を行ってください。

### 1 設定 ▶ ロック・セキュリティ ▶ 情報セキュリティ

### 2 端末の暗号化 ▶ 暗号化についての内容を確認 ▶ 携帯端末の暗号化

### 3 端末暗証番号(暗証番号/パスワード)を入力 ▶ 携帯端末の暗号化

暗号化処理が開始されます。処理には1時間以上の時間がかかる場合があります。処理が完了して端末暗証番号(暗証番号/パスワード)の入力画面が表示されるまでそのままお待ちください。

- 処理中に端末が自動的に再起動する場合があります。
- 端末暗証番号(暗証番号/パスワード)を設定していない場合は、端末暗証番号(暗証番号/パスワード)の入力は不要です。

## 4 暗号化処理が完了したら、端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を入力する

- 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を設定していない場合は、端末暗証番号(暗証番号／パスワード)の入力は不要です。

### お知らせ


- 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)の入力を10回および20回連続して間違えると、電源を入れ直すまで入力できません。30回連続して間違えると、本端末が初期化されます。

## 電池

電池の消費を抑える設定や電池の使用履歴を確認します。

### バッテリーセーバー

本端末の動作を制限して電池の消費を抑えます。

- バッテリーセーバーをONにすると、ステータスバーとナビゲーション表示部の背景がオレンジ色になり、ステータスバーに「」が表示されます。
- バッテリーセーバーをONにすると、Bluetooth、Wi-Fi、位置情報の設定がOFFになり、照明の明るさや省電力移行時間などが変更されます。

## 1 ▶ 設定 ▶ 電池 ▶ バッテリーセーバー

## 2 項目を選択

**ON／OFF:** バッテリーセーバーをON／OFFします。

**自動的にON:** 設定した電池残量でバッテリーセーバーを自動的にONにします。

### 使用履歴

## 1 ▶ 設定 ▶ 電池 ▶ 使用履歴

電池使用履歴が表示されます。

- グラフやアプリを選択すると履歴の詳細が表示されます。

## 外部接続

端末と外部機器を接続するための設定をします。

### Bluetooth

## 1 ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth

- 詳しくはP.118を参照してください。



### Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

## 1 ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Wi-Fi ▶ ON


検出されたWi-Fiネットワークが表示されます。

## 2 Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、「接続」を選択します。
- 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力中のパスワードが表示されます。
- 「詳細設定項目」にチェックを付けると、詳細な設定を行うことができます。
- 接続中のWi-Fiネットワークを削除する場合は、 (サブメニュー) ▶ 保存済みネットワーク ▶ 接続中のWi-Fiネットワークを選んで  (選択) ▶ 削除を選択します。




## お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE/3Gネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- 圏外等でWi-Fiネットワークが切断された場合、圏内に戻ったあとの自動接続に時間がかかることがあります。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード(セキュリティキー)を入力した場合、「認証に問題」と表示されます。パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。なお、「インターネットアクセスを検出できないため、自動的に再接続されません。」と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- インターネットが利用不可の場合はWi-Fi受信レベルアイコンに  が付き、Wi-FiではなくLTE/3Gネットワークで通信が行われる場合があります。

## ■WPSについて

アクセスポイントが「WPS」に対応しているときは、簡単な操作でアクセスポイントに接続できます。

 (サブメニュー) ▶ 詳細設定 ▶ WPSプッシュボタン/WPS PIN入力と操作して、アクセスポイントを登録します。

## ■Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetoothを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

## Wi-Fiのサブメニュー

1  ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Wi-Fi ▶  (サブメニュー)

## 2 項目を選択

**ネットワークを追加:** 手でWi-Fiネットワークを追加します。

**保存済みネットワーク:** 保存済みのWi-Fiネットワークが表示されます。

**更新:** 再度Wi-Fiネットワークを検索します。

**詳細設定:** Wi-Fiの詳細設定をします。

## お知らせ

- 「詳細設定」の「スリープ時にWi-Fi接続を維持」を「接続を維持しない」に設定している場合、省電力モードに移行してから約900秒経過後にWi-Fi接続が切断されます。「充電中は接続を維持する」に設定していても充電していない場合も同様です。

## 位置情報

- GPSとモバイルネットワークを利用して位置を計測します。

1  ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ 位置情報 ▶ ON ▶ はい

## お知らせ

- 位置情報をONにしても、Wi-Fi接続中は位置情報が取得できない場合があります。

## GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、位置情報を「ON」に設定する必要があります。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい状態位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
  - GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく内容が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得することがあります。

## NFC設定

NFC機能を利用するかどうかを設定します。

- おサイフケータイをロック(P.79参照)している場合は操作できません。

### 1 設定 ▶ 外部接続 ▶ NFC設定

### 2 項目を選択

**Reader/Writer, P2P:** ICカードの読み書きや他のデバイスと接触したときのデータ交換を許可します。

**Android Beam:** 他のNFC対応の端末にアプリのコンテンツを転送するかどうかを設定します。

## USBモード

### 1 設定 ▶ 外部接続 ▶ USBモード

### 2 項目を選択

**MTPモード:** MTPに対応しているパソコンと接続し、本体内、microSDカード内のファイルを相互に転送できるようにします。

**PTPモード:** MTPに対応していないパソコンと接続し、本体内のファイルを相互に転送できるようにします。

## イヤホンマイク

イヤホンマイクを接続しているときに使うマイクを、端末(本体)側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

### 1 設定 ▶ 外部接続 ▶ イヤホンマイク

### 2 項目を選択

**本体マイク:** 本体側のマイクを使用します。

**イヤホンマイク:** イヤホンマイク側のマイクを使用します。

## VPN

VPN(Virtual Private Network:仮想プライベートネットワーク)は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

### VPNを追加する

#### 1 ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ VPN

VPN設定画面が表示されます。

- 認証情報ストレージに関する注意が表示された場合は、「OK」を選択して端末暗証番号(暗証番号/パスワード)を設定してください。(P.100参照)

#### 2 (サブメニュー) ▶ 追加 ▶ ネットワーク管理者の指示に従って各項目を設定 ▶ 保存

### VPNに接続する

#### 1 VPN設定画面 ▶ 接続したいVPNを選択

#### 2 必要な認証情報を入力 ▶ 接続

### VPNを切断する

#### 1 VPN設定画面 ▶ 切断したいVPNを選択 ▶ 切断

## 通信・ネットワーク

通信やネットワークなどの設定をします。

### 機内モード

電話やメールなど通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。

#### 1 ▶ 設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ 機内モード ▶ チェックを付ける / 外す

#### お知らせ

- 機内モードを有効にしている場合でも、Wi-FiやBluetoothをONにすることができます。

### データ使用量

#### 1 ▶ 設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ データ使用量

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量(目安)が表示されます。

- サブメニューから「モバイルデータを設定する」を「ON」に設定すると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- サブメニューでモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、「モバイルデータの上限を設定する」をONにしているときのみ設定できます。

### バックグラウンドデータを制限する

アプリが自動的に行うデータ通信を制限できます。


#### 1 ▶ 設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ データ使用量 ▶ (サブメニュー) ▶ バックグラウンドデータを制限する ▶ OK

## お知らせ

- モバイルデータ通信の使用量が上限に達すると、モバイルデータ通信が利用できません。上限設定を解除すると再度利用できます。
- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy docomoで確認できます。

## モバイルネットワーク

データ通信やデータローミング、アクセスポイントなどの設定をします。

1  ▶ **設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ モバイルネットワーク設定**

2 **項目を選択**

**データ通信を有効にする**：データ通信を利用するかどうかを設定します。

データローミング：P.125参照。

優先ネットワークモード：P.126参照。

アクセスポイント名：P.106参照。


通信事業者：P.125参照。

## アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。


- spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。  
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>
- mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。  
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。  
<https://www.mopera.net/>


■利用中のアクセスポイントを確認する

1  ▶ **設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ モバイルネットワーク設定 ▶ アクセスポイント名**

■アクセスポイントを追加で設定する

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1  ▶ **設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ モバイルネットワーク設定 ▶ アクセスポイント名**

2  (サブメニュー) ▶ **新しいAPN**

3 **名前 ▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶ OK**

4 **APN ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ OK**


5 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶  (サブメニュー) ▶ 保存**

## お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

## アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1  ▶ **設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ モバイルネットワーク設定 ▶ アクセスポイント名**

2  (サブメニュー) ▶ **初期設定にリセット**

## ドコモサービス

ドコモのサービスなどの設定をします。

### 1 設定 ▶ ドコモサービス

### 2 項目を選択

**dアカウント設定:**ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。

**ドコモアプリ管理:**アプリのアップデートの確認などについて設定します。

**ドコモアプリパスワード:**ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

**オートGPS:**お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせするオートGPS対応サービスをご利用するための設定を行います。

**ドコモ位置情報:**イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスにて位置情報を提供するための設定を行います。

**端末エラー情報送信設定:**本端末にエラーが発生した場合に、エラー情報などをドコモに送信するかどうかを設定します。

**遠隔初期化:**遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。

**USBデバッグ切替:**USBデバッグを有効にするかどうかを設定します。

**あんしんマネージャー:**パソコンなどから本端末を管理するための設定を行います。

**オープンソースライセンス:**オープンソースライセンスを確認できます。

#### お知らせ

- ドコモサービスに表示されるアプリの中には無効にすることができるものがあり、無効にされたアプリは、起動できなくなる場合があります。

## その他設定

その他の設定をします。

### マルチワンタッチ機能

- ### 1 設定 ▶ その他設定 ▶ マルチワンタッチ機能
- 詳しくはP.30を参照してください。

### サイドボタン設定

- ### 1 設定 ▶ その他設定 ▶ サイドボタン設定

### 2 項目を選択

**閉じた時有効:**端末を閉じたときでもサイドボタンを有効のままにします。


**閉じた時無効:**端末を閉じたときにサイドボタンを無効にします。

## アプリケーション

### 1 ▶設定▶その他設定▶アプリケーション

アプリの管理画面が表示されます。

アプリを無効にしたり、キャッシュの削除などを行います。

-  で「ダウンロード済み」「SDカード上」「実行中」「すべて」タブを切り替えることができます。

### アプリを無効にする

アプリの動作を停止し、アンインストールせずに起動させないように設定します。アプリを無効にしても、アンインストールはされません。

### 1 アプリの管理画面▶「すべて」タブを選ぶ

### 2 無効にしたいアプリを選択▶無効にする▶OK

- 無効にしたアプリを有効にするには、有効にしたいアプリを選択▶有効にすると操作します。

### お知らせ

- アプリを無効にした場合、無効にしたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。無効にしたアプリを再度有効にすることで、正しく動作します。

## アプリの通知

アプリケーションからの通知を表示するかどうかを設定します。

### 1 ▶設定▶その他設定▶アプリの通知

### 2 アプリケーションを選択▶項目にチェックを付ける

**ブロック**: アプリからの通知を表示しません。

**優先度**: アプリからの通知を通知パネルの先頭に表示するなど、優先的に表示します。

**プライベート**: ロック画面にアプリからの通知の詳細な内容を表示しません。


- 端末暗証番号(暗証番号/パスワード)が設定済みの場合のみ設定できます。

## スクリーンセーバー

充電中に省電力モードに移行した場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

### 1 ▶設定▶その他設定▶スクリーンセーバー▶ON

### 2 時計/カラー/フォトテーブル/フォトフレーム

- 「時計」「フォトテーブル」「フォトフレーム」を選択した場合は、 (詳細設定) を押して、表示する画像などを設定します。

## ウィジェット

ウィジェット画面に好きなウィジェットを貼り付けて利用できます。  
ウィジェットは20件まで貼り付けできます。

### 1 設定 ▶ その他設定 ▶ ウィジェット画面

ウィジェット画面が表示されます。

## ウィジェット画面のサブメニュー

### 1 ウィジェット画面 (サブメニュー) ▶ 項目を選択

**貼る**: ウィジェット画面にウィジェットを貼り付けます。

**移動する**: 貼り付けたウィジェットの位置を変更します。

**はがす**: 貼り付けたウィジェットをはがします。

**大きさを変更する**: 貼り付けたウィジェットの大きさを変更します。

## ユーザー補助

### 1 設定 ▶ その他設定 ▶ ユーザー補助

### 2 項目を選択

**サービス**: ユーザー補助サービスの一覧が表示されます。サービスを選択すると各サービスの設定ができます。

● お買い上げ時にはサービスはインストールされていません。

**テキスト読み上げの出力**: テキスト読み上げ出力の設定をします。

● 日本語の読み上げには対応していません。

## ストレージ

microSDカードや本端末の空き容量の確認などができます。

### 1 設定 ▶ その他設定 ▶ ストレージ

### 2 項目を選択

**SDカードをマウント／SDカードのマウント解除**: microSDカードをマウント／マウント解除します。

**SDカード内データを消去**: microSDカード内の全データを消去(初期化)します。

## 端末初期化

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

### 1 設定 ▶ その他設定 ▶ 端末初期化

### 2 端末のリセット ▶ 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を入力 ▶ すべて消去

端末が再起動します。

● 端末暗証番号(暗証番号／パスワード)を設定していない場合は、「暗証番号」または「パスワード」を選択して設定します。

端末暗証番号(暗証番号／パスワード)についてはP.99参照。

● 端末初期化を行うときは、電池を十分に充電した状態にしておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。

## お知らせ

● 端末初期化を行っても、おサイフケータイのロックは解除されません。

## ソフトウェア更新

### 1 設定 ▶ その他設定 ▶ ソフトウェア更新

- 詳しくはP.141を参照してください。

## 端末情報

端末情報の確認ができます。

### 1 設定 ▶ その他設定 ▶ 端末情報

## 2 項目を選択

**端末の状態**: 電話番号、電波状態などを確認できます。

**法的情報**: ライセンス情報を確認できます。

**モデル番号**: モデル番号を確認できます。

**OSバージョン**: OSのバージョンを確認できます。

**ベースバンドバージョン**: ベースバンドバージョンを確認できます。

**カーネルバージョン**: カーネルバージョンを確認できます。

**ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。



# データ管理

## 本体メモリ(内部ストレージ)

お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。

●パスは「P-01J¥内部ストレージ」と表示されます。

**Alarms:** アラーム音などが保存されます。

**Android:** インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。

**DCIM:** 端末で撮影した静止画や動画が保存されます。

**Download:** ウェブブラウザでダウンロードしたファイルが保存されます。

**Movies:** 動画などが保存されます。

**Music:** 音楽データなどが保存されます。

**Notifications:** お知らせ音などが保存されます。

**Pictures:** 静止画などが保存されます。

**Podcasts:** ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。

**Ringtones:** 着信音などが保存されます。

## microSDカード(外部ストレージ)

microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。

- P-01Jでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。(2016年9月現在)  
microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードメーカーへお問い合わせください。  
<http://panasonic.jp/mobile/>  
なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末が対応しているmicroSDカードのスピードクラスは、最大CLASS10です。
- 本端末が対応しているmicroSDカードのUHSスピードクラスは、CLASS3です。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(P.109参照)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け/取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー(P.21参照)、電池パック(P.37参照)を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け/取り外しが終わったら、電池パック(P.37参照)、リアカバー(P.21参照)を取り付けてください。

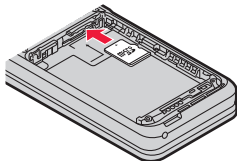
## microSDカードの取り付け／取り外し

microSDカードは電源を切り、電池バックを外してから取り付けます。

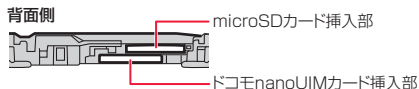
### 取り付けかた

#### 1 金属端子面を下にし、切り込みの部分が右側になっていることを確認して差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



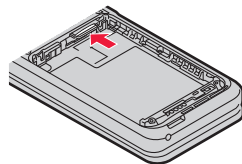
- microSDカード挿入部は、ドコモnanoUIMカード挿入部の上にあります。



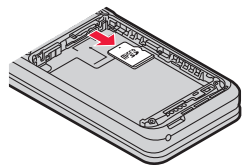
### 取り外しかた

#### 1 microSDカードをいったん奥まで押し込む

- 奥まで押し込むとmicroSDカードが出ます。



#### 2 microSDカードを抜き取る



### お知らせ

- microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますのでご注意ください。
- microSDカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。斜めに差し込むとmicroSDカードが破損することがあります。
- microSDカードを取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

## ファイルの操作

本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを種類ごとに分類して、再生／表示、管理をすることができます。

### 1 データ

### 2 項目を選択

**カメラ:** P.114参照。

**ピクチャー:** P.114参照。

**音楽:** 音楽などを再生します。

**動画:** 動画などを再生します。

**書類:** パソコンで作成されたMicrosoft Word／Excel／PowerPointやPDFデータ、テキストデータを表示します。

**その他:** その他のデータを表示します。

### 3 データを選択

#### お知らせ

- データBOXで表示されるデータの中には、表示や再生ができない場合があります。
- データサイズによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できなかったりする場合があります。

## データ保存先の表示変更

### 1 データ ▶ カテゴリを選択

### 2 (保存先) ▶ 本体+microSD／本体／microSD

## データのサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

### 1 データー覧画面／データ詳細画面で (サブメニュー) ▶ 項目を選択

**表示切替:** リスト／グリッドに表示を切り替えます。

**フォルダー一覧・コンテンツ一覧:** フォルダ一覧表示とコンテンツ一覧表示を切り替えます。

**送信:** メール添付や赤外線・Bluetooth送信などで送信します。

**削除:** データを削除します。

**スライドショー:** スライドショーを表示します。

**移動・コピー:** P.114参照。

**1件削除:** データを1件削除します。

**選択削除:** データを選択して削除します。

**ソート:** 保存されているデータの並び順を変更します。

**画像を登録:** 電話帳や壁紙に画像を登録します。

**登録:** 音楽データを着信音などに登録します。

**設定:** スライドショーの設定をします。

**メモリ使用状況:** microSDカードと本体メモリの容量を表示します。

**詳細情報:** データの詳細情報を表示します。





#### お知らせ

##### <画像を登録>

- 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できない場合があります。









## データの移動・コピー

本体メモリまたはmicroSDカードに保存したデータの保存場所を移動したり、コピーしたりできます。

- 1 データー一覧画面で  (サブメニュー) ▶ 移動・コピー
- 2 microSDへ移動 / microSDへコピー / 本体へ移動 / 本体へコピー
- 3 移動・コピーしたいデータを選択 ▶  (移動 / コピー)
  - 全選択する場合は  (全選択)、全選択解除する場合は  (全解除) を押します。

## カメラ / ピクチャー

カメラで撮影した静止画やダウンロードした画像の表示ができます。

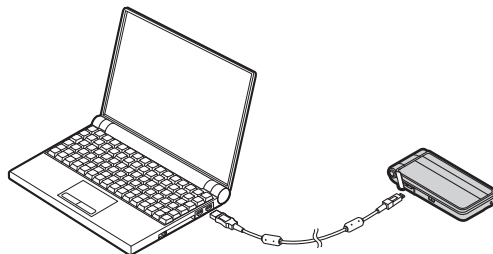
- 1  ▶ データ ▶ カメラ / ピクチャー
- 2 静止画を選択
- 3 静止画を確認する
  - 前後の静止画を表示 (等倍表示中) : 
  - 静止画を拡大表示 :  (拡大)
  - 静止画の表示位置を変更 (拡大表示中) : 
  - 静止画の拡大表示を解除して等倍表示に戻る (拡大表示中) :  (縮小)
  - 静止画の全画面表示 :  (全画面)
  - 静止画の回転 :  (回転)
  - 静止画の表示を終了 (等倍表示中) :  (終了)

## パソコンとの接続

端末とパソコンを接続することで、microSDカードをパソコンの外部メモリとして利用したり、データ転送できます。

### 端末とパソコンの接続方法

- 1 microSD接続ケーブル 01 (別売)のmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む
- 2 microSD接続ケーブル 01のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む
  - USBモードについてはP.104参照。



### お知らせ

- USBケーブルはmicroUSB接続ケーブル 01をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはプラグ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、microUSB接続ケーブル 01を取り外さないでください。データが壊れる場合があります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 (各日本語版)です。

## データ転送

パソコンから本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送することができます。

- 1** 端末をmicroUSB接続ケーブル 01でパソコンに接続する
- 2** データを転送する
- 3** 利用が終わったら、microUSB接続ケーブル 01を端末とパソコンから取り外す

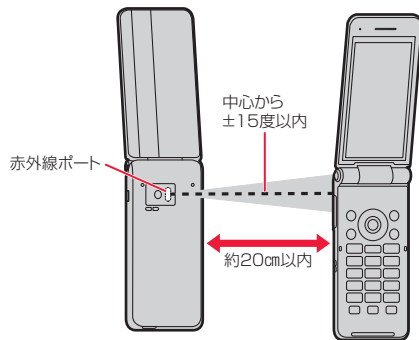
# データ通信

## 赤外線通信

赤外線を利用して、携帯電話など他の機器とデータをやりとりできます。

### 赤外線送受信のご利用にあたって

- 赤外線通信距離は、約20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- 赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できません。
- 機内モード中は赤外線通信できません。
- 全件データの送受信には、認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 端末を手を持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下・赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。



## 赤外線送受信


### 1 件受信

1 (メニュー) ツール ▶ 赤外線

2 1 件受信

3 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ はい ▶ はい

## 全件受信

- 1  ツール ▶ 赤外線
- 2 全件受信
- 3 認証パスワードを入力 ▶ 決定
- 4 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ はい ▶ はい


### お知らせ

- 受信操作が終わると、受信待ち状態になります。約60秒以内に送信側の端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。
- 全件受信時に「保存する」を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますのでご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できない場合があります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

## 1件送信

- 1 送信したいデータのサブメニュー ▶ 送信 / データ送信 (共有) ▶ 赤外線送信 / 赤外線
- 2 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ はい

## 全件送信

- 1  ツール ▶ 赤外線
- 2 全件送信 ▶ 送信したいデータを選択
- 3 認証パスワードを入力 ▶ 決定
- 4 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ はい

## Bluetooth通信

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンや対応プロファイルについてはP.145参照。

### お知らせ

- Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、ワンセグなどの音声が出力できない場合があります。

### ■Bluetooth機器取り扱い上のご注意

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。本端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器(電気製品/AV機器/OA機器など)からなるべく離して接続してください。(電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。)近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。)
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器を鞆やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と本端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

**Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。**

場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- ・電車内
- ・航空機内
- ・病院内
- ・自動ドアや火災報知機から近い場所
- ・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所



### Wi-Fi対応機器との電波干渉について


Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。


- 端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

### Bluetooth機器の利用



- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな4~16桁の数字を決めておき、本端末と相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

#### 1 ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ ON

ステータスバーに「」が表示され、端末の周辺にあるBluetooth機器を探します。

- 再検索する場合は、 (サブメニュー) から「更新」を選択します。

#### 2 登録したいBluetooth機器を選択

Bluetooth機器との接続が完了すると「」が「」に変わります。

- Bluetooth機器によってはペア設定リクエスト画面が表示されます。

### お知らせ

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- Bluetooth機能を「ON」にすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。


### お知らせ

- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください(取扱説明書によっては、「更新」の代わりに「探索」または「サーチ」、「ペア設定する」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています)。

### Bluetooth機器からの登録要求や接続要求を受けた場合

#### 1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求を受ける

#### 2 確認画面で「ペア設定する」を選択する

- ステータスバーに「」が表示された場合は、通知パネルを開いて通知を選択します。

### Bluetooth機器の接続解除

#### 1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選択 ▶ OK

ステータスバーの「」が「」に変わります。

### Bluetooth機器の登録解除

#### 1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器を選んで (詳細設定) ▶ 切断

## Bluetooth画面のサブメニュー操作

- あらかじめBluetooth機能を「ON」にしてください。

### 1 Bluetooth画面で (サブメニュー)

### 2 項目を選択

**更新:**周囲のBluetooth機器を検索します。


**この端末の名前を変更:**本端末の名称を変更します。

**受信済みファイルを表示:**Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。


## Bluetooth通信でデータを送受信する

- あらかじめBluetooth機器とペア設定をしておいてください。

### 受信

相手のBluetooth機器からのデータを着信すると、ステータスバーに「」が表示されます。

#### 1 通知パネルを開く ▶ 着信通知を選択 ▶ 承諾


データの取得が完了するとステータスバーに「」が表示されます。

#### 2 通知パネルを開く ▶ 受信通知を選択 ▶ 受信したデータを選択

### 送信

#### 1 送信したいデータを選んで送信／共有などのメニューを操作する

#### 2 接続するBluetooth機器を選択する

データの送信が完了するとステータスバーに「」が表示されます。

### お知らせ

- 機能やデータによっては、送信／共有などのメニューを選択してもデータを送信できない場合があります。
- 受信したデータによっては本端末で利用できない場合があります。

# 安心・安全サービス

## 災害用伝言板

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生した時に、安否情報の登録と確認ができるサービスです。

本端末から文字でお客様の安否情報を登録し、家族などの携帯電話、パソコンなどから安否情報の確認ができます。

災害用伝言板の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

### 1 ▶ あんしん ▶ 災害用伝言板

- 以降は画面の指示に従ってください。

## 災害用音声お届けサービス

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生した時に、安否情報を音声メッセージでお届けできるサービスです。

本端末で音声を録音し、音声メッセージとしてお客様の安否情報を家族などにお届けできます。

災害用音声お届けサービスの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

### メッセージの送信

#### 1 ▶ あんしん ▶ 災害用音声お届けサービス

#### 2 音声メッセージの送信 ▶ 送信先選択方法を選択 ▶ 電話番号を入力 ▶ (次へ)

- 以降は画面の指示に従ってください。

### メッセージの確認

#### 1 ▶ あんしん ▶ 災害用音声お届けサービス

#### 2 新着音声メッセージの確認

- 以降は画面の指示に従ってください。

## 緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールが送られてきたときは自動的に受信し、ディスプレイの表示状態や画面のロック設定中にかかわらず内容を表示します。
- 端末の状態によっては、受信できないことや自動表示しないことがあります。
- 次の場合は、受信できません。
  - 電源が切れているとき
  - 圏外時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
- 次の場合は、受信しないことがあります。
  - パケット通信中
  - ソフトウェア更新中
- 次の場合は、受信しても専用ブザー音、専用着信音、バイブレータは鳴動しません。
  - 通話中
- 次の場合は、受信しても自動表示しないことがあります。
  - パケット通信中
  - ソフトウェア更新中
- 受信できなかったエリアメール(緊急地震速報)を再度受信することはできません。エリアメール(津波警報、災害・避難情報)は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。
- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。

### 1 エリアメールを自動的に受信

### 2 専用ブザー音または専用着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールをあとで確認する

### 1 ▶ あんしん ▶ 緊急速報「エリアメール」

### 2 受信したエリアメールを選択


#### お知らせ

- spモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- エリアメールは50件まで保存できます。
- 本体メモリに保存したエリアメールが最大保存件数を超えた場合は、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。

## 緊急速報「エリアメール」の設定

エリアメールを受信するかどうかが、受信時の動作などを設定します。

1  ▶ あんしん ▶ 緊急速報「エリアメール」

2  (サブメニュー) ▶ 設定

3 項目を選択

**受信設定:** エリアメールを受信するかどうかを設定します。

**着信音:** 鳴動時間、マナーモード中の動作について設定します。

**受信画面および着信音確認:** 緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面および着信音を確認できます。


**やさしい日本語表示:** 緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。


### お知らせ

- 緊急地震速報のブザー音や津波警報、災害・避難情報の専用着信音、着信音量、バイブレータの設定は変更できません。

## 緊急速報「エリアメール」の削除

1  ▶ あんしん ▶ 緊急速報「エリアメール」

2 エリアメールを選び  (選択)

- すべてのエリアメールを選択するには  (全選択) を押します。

3  (削除) ▶ OK

## あんしんモード

端末を利用するお子様にあわせて、アプリ起動の制限やWi-Fi接続などを制限できます。

1  ▶ あんしん ▶ あんしんモード

- はじめてご利用される際には端末管理を有効にします。

また、以下の設定を行います。

- パスワードの設定
- アプリ起動制限のルールを選択
- アプリの起動制限

これらの設定はあとで変更できます。

- 2回目以降あんしんモードを起動する際には、設定したパスワードを入力する必要があります。

2 項目を選択

**あんしんモード:** あんしんモードの有効/無効を切り替えます。

**ルール設定:** アプリ起動制限のルールを変更します。

**アプリ起動制限:** アプリの起動を制限します。

**アプリインストール制限:** アプリのインストールを制限します。

**Wi-Fi接続制限:** Wi-Fi接続を制限します。

**端末設定変更の制限:** 端末の各設定を変更できないようにします。

**パスワードと秘密の質問:** パスワードの変更やパスワードを忘れた場合の質問を設定します。

**あんしんモードの初期化:** あんしんモードの設定を初期化します。

# 海外利用

## 国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング(WORLD WING)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

### ■対応ネットワークについて

本端末は3Gネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。ご利用可能エリアをご確認ください。

### お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

## 海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	3G	3G850
電話	○	○
SMS	○	○
メール*	○	○
ブラウザ*	○	○

※ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定をONにしてください。(P.125参照)

### お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。(P.32参照)

## 海外でご利用になる前の確認事項

### 出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

#### ■ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

#### ■充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

#### ■料金について

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

### 事前設定

#### ■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます(P.128参照)。日本国内での「遠隔操作設定」についてはP.53参照。
- 設定/解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

### 滞在国内の確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。


#### ■接続について

「通信事業者」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動的に選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

## 海外で利用するための設定

### データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。


1  **設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ モバイルネットワーク設定 ▶ データローミング**

2 **ON**

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、OKを選択してください。

### 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1  **設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ モバイルネットワーク設定 ▶ 通信事業者**


- 利用可能なネットワークを検索して表示します。
- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「データ通信を有効にする」をOFFにして再度操作してください。(P.106参照)

2 **通信事業者のネットワークを選択**

- 「ネットワークを検索」を選択すると、通信事業者の再検索をします。
- 「自動的に選択」を選択すると、通信事業者を自動的に選択します。

## 優先ネットワークモード

使用するネットワークを設定できます。

1  ▶ 設定 ▶ 通信・ネットワーク ▶ モバイルネットワーク設定 ▶ 優先ネットワークモード

## 2 項目を選択

- 4G/3G (自動): 利用できるネットワークに自動で切り替えます。
- 3G: 3Gネットワークを利用します。

## 日付と時刻

「日付と時刻の自動設定」、「タイムゾーンの自動設定」にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われないうち場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻についてはP.98参照。


## お問い合わせ

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国内に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

## 滞在先で電話をかける／受ける

### 滞在国外(日本を含む)に電話をかける

1 「+」()を1秒以上、国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力▶ 

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。
- 電話番号を入力▶  (サブメニュー) ▶ 発信オプション ▶ 国際電話発信 ▶ ON ▶ 国番号と操作しても国番号を入力できます。
- 地域番号(市外局番)の最初の「0」は削除されます。

### お知らせ

- 発信者番号を通知しても、通信事業者によっては「通知不可能」や「非通知設定」など正しく番号表示されないことがあります。

### 国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国内から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。


- あらかじめ国際ダイヤルアシストを設定しておいてください。
- 電話番号の先頭の「0」が国番号で設定している国番号に自動的に変換されます。

1 電話番号を入力▶ 

2 変換後の番号で発信



## 国際ダイヤルアシストの設定

1  ▶ 電話機能 ▶ 発着信・通話設定 ▶ 海外設定 ▶ 国際ダイヤルアシスト

## 2 項目を選択

**自動変換機能:** 国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。

**国番号:** 自動変換機能で使用する国番号を選択します。

**国際プレフィックス:** 自動変換機能で使用する国際プレフィックスを選択します。



## 滞在国内に電話をかける

滞在国内で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

● 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。

## 海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 「+」()を1秒以上)、日本の国番号「81」、先頭の「0」を除いた相手先携帯電話番号を入力▶ 

## 海外で電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

### お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきたときは、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

## 相手からの電話のかけかた

日本から滞在先に電話をかけてもらうときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力してもらいます。

日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらうときは、滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力してもらいます。「発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80、70)-XXXX-XXXX」

## 国際ローミングの設定

### 海外設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

#### 1 電話機能 ▶ 発信・通話設定 ▶ 海外設定

#### 2 項目を選択

**ローミング時着信規制:**国際ローミング中に着信を規制することができます。

**ローミング着信通知:**渡航中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。

**ローミングガイダンス:**国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。

**国際ダイヤルアシスト:**P.127参照。

**ネットワークサービス:**P.128参照。

### ネットワークサービス(海外)の設定

滞在国内で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。(P.53参照)
- 海外から操作した場合は、滞在国内から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

#### 1 電話機能 ▶ 発信・通話設定 ▶ 海外設定 ▶ ネットワークサービス

#### 2 項目を選択

**遠隔操作(有料):**遠隔操作を開始するかどうかを設定します。

**番号通知お願いサービス(有料):**発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。

**ローミング着信通知(有料):**ローミング着信通知について設定します。

**ローミングガイダンス(有料):**ローミングガイダンスについて設定します。

**留守番電話サービス(有料):**電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。(お申込み必要)

**転送でんわサービス(有料):**かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。(お申込み必要)

#### 3 音声ガイダンスに従って操作

## 帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 優先ネットワークモードを「4G/3G (自動)」に設定してください。(P.126参照)
- 通信事業者を「自動的に選択」に設定してください。(P.125参照)

# 付録／索引

## メニュー一覧

### メール

機能	ページ
メール	59
SMS	61
みまもりメール設定	71

### Web

機能	ページ
dメニュー・検索	63
Bookmarks	64
サイト閲覧履歴	64
Google検索	65
ブラウザ起動	65
web設定	65

### あんしん

機能	ページ
災害用伝言板	121
災害用音声お届けサービス	121
緊急速報「エリアメール」	122
あんしんモード	123

### カメラ／TV／音楽

機能	ページ
カメラ	68
ビデオ	68
バーコードリーダー	69
TV(ワンセグ)	73
音楽(ミュージック)	75

### データ

データについてはP.113参照。

### おサイフケータイ

おサイフケータイについてはP.78参照。

### 電話機能

機能	ページ
電話帳	55
伝言メモ／音声メモ	52
リダイヤル	51
着信履歴	51
あんしん応答設定	50

機能		ページ
発着信・通話設定	ネットワークサービス	53
	海外設定	128
	着信設定	54
	発信設定	54
	その他設定	54
短縮ダイヤル設定		48

機能		ページ
ロック・セキュリティ	ロック	100
	端末暗証番号設定	100
	SIMカード設定	100
	情報セキュリティ	101
電池	バッテリーセーバー	102
	使用履歴	102
外部接続	Bluetooth	119
	Wi-Fi	102
	位置情報	103
	NFC設定	104
	USBモード	104
	イヤホンマイク	104
	VPN	105
通信・ネットワーク	機内モード	105
	データ使用量	105
	モバイルネットワーク設定	106

## 設定

機能		ページ
画面・ディスプレイ	待受画面設定	94
	背面ディスプレイ設定	94
	明るさプラス	94
音／バイブ／マナー	音量	95
	音選択	95
	その他音設定	95
	バイブレート設定	95
	マナーモード	96
照明・イルミネーション	照明設定	96
	イルミネーション設定	96
文字表示／入力	文字サイズ	97
	文字入力機能	97
	言語	97
時計		98

機能		ページ
ドコモサービス	dアカウント設定	107
	ドコモアプリ管理	107
	ドコモアプリパスワード	107
	オートGPS	107
	ドコモ位置情報	107
	端末エラー情報送信設定	107
	遠隔初期化	107
	USBデバッグ切替	107
	あんしんマネージャー	107
	オープンソースライセンス	107
その他設定	マルチワンタッチ機能	30
	サイドボタン設定	107
	アプリケーション	108
	アプリの通知	108
	スクリーンセーバー	108
	ウィジェット画面	109
	ユーザー補助	109
	ストレージ	109
	端末初期化	109
	ソフトウェア更新	142
	端末情報	110

## ツール

機能	ページ
地図	81
電卓	82
アラーム	82
スケジュール	83
メモ	85
LINE	86
歩数計	87
赤外線	116
ボイスレコーダー	88
世界時計	89
タイマー	89
ストップウォッチ	90
トルカ	90
データ引き継ぎ	91
SDカードバックアップ	92
ケータイデータお預かりサービス	93
取扱説明書	93

## i コンシェル

i コンシェルについてはP.80参照。

## プロフィール

プロフィールについてはP.34参照。

## P-SQUARE

P-SQUAREについてはP.80参照。

## トラブルシューティング(FAQ)

### 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>

ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。

ソフトウェア更新についてはP.141参照。

気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

### ■電源

本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。(P.37参照)
- 電池切れになっていませんか。(P.32参照)

画面が動かない、電源が切れない

- 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に $\text{⏻}$ を約10秒押し、本端末の電源を強制的に切ることができます。  
※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

## ■充電

### 充電ができない(着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する)

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。(P.37参照)
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。(P.39参照)
- ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。(P.38、P.39参照)
- 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れているときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して着信／充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(P.38参照)
- 適正な周囲温度以外の場所では、充電が開始されなかったり、フル充電にならない場合があります。その場合は、周囲温度を確認して、再度充電を行ってください。(P.38参照)

## ■端末操作

### 操作中・充電中に熱くなる

- 操作中や充電中、また、充電しながらアプリ、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

### 電池の使用時間が短い

- 圏外の状態でも長時間放置するようなことはありません。圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。(P.32参照)
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。(P.38参照)
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。(P.38参照)

### 電源断・再起動が起きる

- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れているときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

### ボタンを押しても動作しない

- サイドボタン設定を「閉じた時無効」に設定していませんか。(P.107参照)

### ボタンを押したときの画面の反応が遅い

- 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

### ドコモnanoUIMカードが認識されない



- ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。(P.35参照)



## 時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態していると時計がずれる場合があります。「日付と時刻の自動設定」が有効になっているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。(P.98参照)

## 端末動作が不安定

- ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。  
※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
  - セーフモードの起動方法  
 (2秒以上) ▶ 「電源を切る」を選んで  (1秒以上) ▶ OK  
セーフモードが起動すると画面右下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし、起動し直してください。
  - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
  - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

## アプリが正しく起動しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)

- 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。(P.108参照)

## ■通話


### ダイヤルボタンを押しても発信できない

- 機内モードを設定していませんか。(P.105参照)

### 着信音が鳴らない

- 着信音量を消去していませんか。(P.95参照)
- 公共モード(電源OFF)、マナーモード、機内モードを設定していませんか。(P.53、P.96、P.105参照)
- 着信拒否設定、呼出動作開始時間設定を設定していませんか。(P.54参照)
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。(P.53参照)
- 伝言メモの応答時間設定を「0秒」にしていませんか。(P.52参照)

### 通話ができない(場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモnanoUIMカードを入れ直してください。(P.35、P.37、P.40参照)
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は「」を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。(P.54参照)
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

## ■画面

### ディスプレイが暗い

- 照明設定の明るさを変更していませんか。(P.96参照)
- 省電力モードになっていませんか。(P.96参照)

## ■音声

### 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 通話音量を変更していませんか。(P.51参照)

## ■メール

### メールを自動で受信しない

- 自動通信設定を「毎回確認する」または「OFF」に設定していませんか。(P.60参照)

## ■カメラ

### カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- 近くの被写体を撮影するときは、フォーカスモードを「マクロ」に設定してください。(P.69参照)
- 人物を撮影するときは、フォーカスモードを「顔優先」に設定してください。(P.69参照)
- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。(P.66参照)


## ■ワンセグ

### ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にはいませんか。(P.74参照)
- チャンネル設定をしていますか。(P.74参照)

## ■おサイフケータイ

### おサイフケータイが使えない


- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを設定したりすると、おサイフケータイのロック設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。(P.37参照)
- おサイフケータイをロックしていませんか。(P.79参照)
- 端末の  マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。(P.78参照)

## ■海外利用

### 海外で本端末が使えない

アンテナマークが表示されている場合:

- WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

「」が表示されている場合:

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。  
利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。  
優先ネットワークモードの種類を「4G/3G (自動)」に設定してください。(P.126参照)  
通信事業者を「自動的に選択」に設定してください。(P.125参照)
- 本端末の電源を「OFF」にしたあと、再び「ON」にすることで回復することがあります。(P.40参照)

### 海外でデータ通信ができない

- データローミングの設定を「ON」にしてください。(P.125参照)

### 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

- 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算してください。

### 相手の電話番号が通知されない

#### 相手の電話番号とは違う番号が通知される

#### 電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

## ■ データ管理

### データ転送が行われない

- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

### microSDカードに保存したデータが表示されない

- microSDカードを取り付け直してください。(P.112参照)

### 画像表示しようとする時「」が表示される、またはデモやプレビューで「」が表示される

- 画像データが壊れている場合は「」が表示される場合があります。

## ■ Bluetooth機能

### Bluetooth通信対応機器と接続ができない

#### サーチしても見つからない

- Bluetooth通信対応機器(市販品)側を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。(P.119参照)

### カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

- 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。(P.40参照)

## ■ 地図・GPS機能

### オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。(P.107参照)
- オートGPS動作設定がOFFになっていませんか。(P.107参照)

## エラーメッセージ

### 空き容量低下

- 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能が正常に動作しなくなる場合があります。不要なファイルの移動/削除を行ってください。

### 暗証番号が正しくありません。

- 入力した端末暗証番号(暗証番号)が間違っています。正しい端末暗証番号(暗証番号)を入力してください。

### このコンテンツは再生できません

- データまたはファイル形式が不正のため再生できません。

### このコンテンツを再生する権限がありません

- ライセンスを取得していないため再生できません。

### 最大録音時間になったため録音を中止しました

- 音声メモ録音中に録音可能な最大録音時間に達したため録音を中止しました。

### 時刻設定を行ってください

- 本端末の日付・時刻が設定されていないため操作できませんでした。日付・時刻を設定してから再度操作を行ってください。

### しばらくお待ちください。(音声サービス)／

### しばらくお待ちください。(データサービス)

- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

### すべての録音データが未確認または保護されているためこれ以上録音できません

- 伝言メモまたは音声メモの最大保存件数に達しており、未再生または保護された録音データが保存されている場合は、録音することができません。伝言メモまたは音声メモの再生、保護の解除、削除をしてから再度操作を行ってください。

#### 端末暗証番号を入れてください

- 画面のロックを設定している場合に表示されます。正しい端末暗証番号(暗証番号)を入力してください。

#### 端末パスワードを入れてください

- 画面のロックを設定している場合に表示されます。正しい端末暗証番号(パスワード)を入力してください。

#### パスワードが正しくありません。

- 入力した端末暗証番号(パスワード)が間違っています。正しい端末暗証番号(パスワード)を入力してください。

#### パスワードが設定されているため開けません。

- ドキュメントにパスワードが設定されているため開けません。

#### ファイルが存在しないため、再生を終了します。

- 再生中の音楽データが削除されたため再生を終了しました。

#### ファイルを読み込めません。

- データまたはファイル形式が不正のためファイルを読み込めません。

#### プレーヤーが対応していない音声ファイル形式です。

- 非対応の音楽データのため再生できません。

#### みまもり宛先設定が未登録のため送信設定できません

- 「みまもり宛先設定」の宛先が未登録の場合は、送信時刻をONに設定できません。宛先を登録して再度操作を行ってください。

#### メモリー残量がありません。動画記録を停止しました。

- 動画撮影中に保存先の空き容量がなくなったため、動画撮影を停止しました。

メモリー残量がありません。保存先を変更するか不要なデータを削除してください。

- 保存先の空き容量がありません。保存先を変更するか、不要なデータを削除してから再度操作を行ってください。

#### メモリー不足のため起動できませんでした

- 本体メモリの空き容量が不足しているため伝言メモを起動できませんでした。不要なデータを削除してください。

#### メモリー不足のためコピーできませんでした

- コピー先の空き容量が不足しているためコピーできませんでした。不要なデータを削除してから再度操作を行ってください。

#### メモリー不足のため録音できません

- 本体メモリの空き容量が不足しているため音声メモを録音できません。不要なデータを削除してから再度操作を行ってください。

#### メモリー不足のため録音を中止しました

- 音声メモ録音中に本体メモリの空き容量がなくなったため、録音を中止しました。

#### PINコードを入力してください

- 「SIMカードをロック」を設定している場合に表示されます。正しいPINコードを入力してください。

#### PINロック解除コードがロックされました。docomoにお問い合わせください。

- PINロック解除コードがロックされている場合に表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

## 保証とアフターサービス

### 保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  - リアカバー P64、卓上ホルダ P56、電池パック P33は無料修理保証の対象外となります。
  - 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
  - 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容をご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

### アフターサービスについて

#### ■調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

#### ■お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

#### 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(外部接続端子・ディスプレイなどの破損)による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

#### 以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)
  - ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合
- ※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

#### 保証期間が過ぎたときは

ご希望により有料修理いたします。

#### 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。  
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>  
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合がございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

## ■お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の以下の箇所に磁気が発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。  
使用箇所: スピーカー、受話口部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

## ■お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

## ソフトウェア更新

P-01Jのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。

更新方法は、以下の3種類があります。

自動更新:更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

即時更新:今すぐ更新を行います。

予約更新:予約した時刻に自動的に更新をします。

### お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

## ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 以下の場合にはソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書き換え)には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い場所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、「ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中は書換え処理を開始できません」と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のP-01J固有の情報(機種や製造番号など)が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、「書き換えに失敗しました。」と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

## ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

### ソフトウェアの自動更新設定


お買い上げ時は、自動更新の設定が「自動で更新を行う」に設定されています。



1  ▶ 設定 ▶ その他設定

2 ソフトウェア更新 ▶ 自動更新設定の変更

3 自動で更新を行う / 自動で更新を行わない

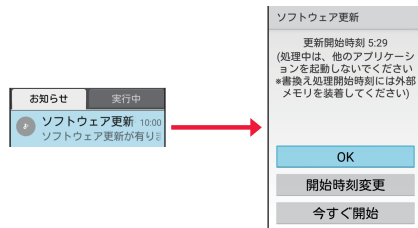
## ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに「更新お知らせアイコン」 (ソフトウェア更新有)が通知されます。

-  (ソフトウェア更新有)が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、 (ソフトウェア更新有)は消えます。

## 1 通知パネルを開く ▶ 通知を選択

書き換え予告画面が表示され、書き換え時刻が表示されます。




## 2 目的の操作を行う

**OK**: 待受画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

**開始時刻変更**: P.143「ソフトウェアの予約更新」参照。

**今すぐ開始**: P.143「ソフトウェアの即時更新」参照。

### お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに  (ソフトウェア更新有)が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が、「自動で更新を行わない」の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

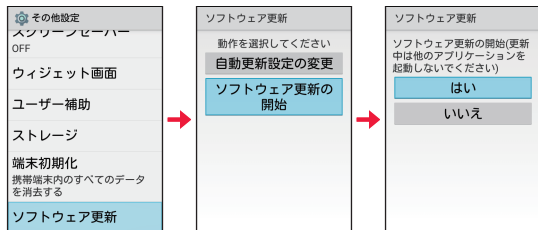


## ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

### 1 **メニュー**▶設定▶その他設定▶ソフトウェア更新▶ソフトウェア更新の開始▶はい



書き換え予告画面からの起動:

書き換え予告画面を表示▶今すぐ開始


### 2 「ソフトウェア更新を開始します」表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始

- 「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、待受画面が表示されます。

#### お知らせ

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。

## ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに「更新完了アイコン」が表示されます。

通知パネルを開いて通知を選択すると完了画面が表示されます。

## ソフトウェアの予約更新

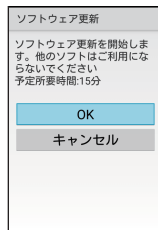
更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

### 1 書き換え予告画面を表示▶開始時刻変更

### 2 時刻を入力▶設定

#### 予約した時刻になると


開始時刻になると書き換え処理画面が表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。



#### お知らせ

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。

## お知らせ

- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にP-01Jの電源が切れている場合、電源を入れたあと、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実行時に待受画面に「ソフトウェア更新を中断しました。端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合は、以下の状態でないことをご確認のうえ、再度更新を行ってください。
  - 圏外
  - 電池パック外れ
  - 他機能との競合

# 主な仕様

## ■本体

品名	P-01J	
サイズ(閉じたとき)	高さ:約113mm 幅:約51mm 厚さ:約16.9mm(最厚部:約17.4mm)	
質量(電池パック装着時)	約132g	
本体メモリ	ROM:8GB RAM:1GB	
連続待受時間	FOMA/3G	静止時:約740時間
	LTE	静止時:約610時間
連続通話時間	FOMA/3G	約500分
	LTE	約460分
ワンセグ視聴時間	約610分	
充電時間	ACアダプタ 05:約140分(卓上ホルダ P56 使用時:約140分) DCアダプタ 04:約140分	
ディスプレイ	方式	ディスプレイ:TFT 16,777,216色 背面ディスプレイ:有機EL 1色
	サイズ	ディスプレイ:約3.4inch 背面ディスプレイ:約0.9inch
	画素数	ディスプレイ:409,920画素(横480ドット ×縦854ドット フルワイドVGA) 背面ディスプレイ:4,608画素(横128ドット ×縦36ドット)
撮像素子	種類	裏面照射型CMOS
	サイズ	1/5.0inch

カメラ	有効画素数	約500万画素
	記録画素数 (最大時)	約500万画素
	デジタルズーム	静止画:最大約4.0倍 動画:最大約4.0倍
表示言語		日本語/英語
入力言語(文字入力)		日本語/英語
無線LAN		IEEE802.11b/g/n(2.4GHz)
Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.4.1*1
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 1
	対応プロファイル*2	HSP(1.2)*3、HFP(1.6)*4、A2DP(1.2)*5、 AVRCP(1.5)*5、HID(1.0)*6、SPP(1.1)*7、 PBAP(1.1)*8、HOGP(1.0)*9、OPP(1.2)

- 電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか弱い場所)などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。
- 静止時の連続待受時間とは、端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- データ通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やデータ通信をしなくても、メールやワンセグなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話(通信)・待受時間は短くなります。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
- 充電時間とは、端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

- ※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※4 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※5 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やワンセグの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※6 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※7 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※8 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※9 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

#### ■電池パック

品名	電池パック P33
使用電池	Li-ion(リチウムイオン)電池
電圧	3.8V
容量	1800mAh

#### ■卓上ホルダ

品名	卓上ホルダ P56
入力	DC 5.0V 1.0 A
出力	DC 5.0V 1.0 A

#### ■ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

- 再生できる動画データの主なファイル形式は下記となります。  
3gp、3gpp、3gpp2、avi、mkv、mp2ts、mp4、mpeg4、webm
- 再生できる静止画データの主なファイル形式は下記となります。  
bmp、gif、jpeg、png、webp

#### ■ドキュメント形式

本端末で表示できるドキュメント形式です。

種類	ドキュメント形式	拡張子
Wordファイル	Microsoft Word 97～2010	doc、docx
Excelファイル	Microsoft Excel 97～2010	xls、xlsx
PowerPointファイル	Microsoft PowerPoint 97～2010	ppt、pptx
PDFファイル	Adobe PDF 1.3～1.7	pdf
テキストファイル	テキストファイル	txt

#### ■動画の録画時間(目安)

お買い上げ時の録画可能時間です。

解像度	本端末に保存できる1件あたりの最大録画時間
HD(720×1280)	約27分

#### ■ボイスレコーダーの録音時間(目安)

- 1回あたりの最大録音時間は約3時間です。

## 携帯電話機の比吸収率(SAR)

この機種P-01Jの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.694W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.281W/kg(※3)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

[http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts\\_press/fact\\_japanese.htm](http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ:

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ:

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ:

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:

<http://panasonic.jp/mobile/support/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みません。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みません。

## Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model P-01J mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (\*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines.

This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.694 W/kg (\*2) and when worn on the body is 0.281 W/kg (\*3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that “a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.  
[http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts\\_press/fact\\_english.htm](http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm)

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:  
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/e/e/index.htm>  
Association of Radio Industries and Businesses Website:  
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (In Japanese only)  
NTT DOCOMO, INC. Website:  
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>  
Panasonic Mobile Communications Co., Ltd. Website:  
<http://panasonic.jp/mobile/support/> (In Japanese only)

- \*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
- \*2 Not including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
- \*3 Not including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

## European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.

Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR\* limits\*\* for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR\* values, when tested for compliance against the standard are 0.571 W/kg for head configuration and 0.834 W/kg for body worn configuration.

While there may be differences between the SAR\* levels of various phones and at various positions, they all meet\*\*\* the EU requirements for RF exposure.

- \* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
- \*\* The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- \*\*\* Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. This mobile phone meets the RF exposure guidelines for body worn operation when positioned at least 0.5 cm from the body. Accessories used for body worn operation must not contain metal and should position the mobile phone at least the distance stated above. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

## CE Declaration of Conformity

# CE0168

The product "P-01J" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on <http://panasonic.jp/mobile/support/>.

- ※ The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P-01J handset, Battery Pack and AC Adapter 04 for Global use (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.
- ※ To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.



## FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  - (1) This device may not cause harmful interference, and
  - (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
  - Reorient or relocate the receiving antenna.
  - Increase the separation between the equipment and receiver.
  - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
  - Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



## FCC RF Exposure Information

### **This model phone meets the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.**

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.\* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.46 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 0.63 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after search on FCC ID UCE216065A.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

- 
- \* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

## Important Safety Information

### Aircraft

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

### Driving

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

### Hospitals

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

### Petrol Stations

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

### Interference

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

### Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

### Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

### Other Medical Devices

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

### Battery

- Do not use/store battery in extremely low/high temperatures.  
Recommended operating temperature: 5°C to 35°C
- Tape over terminals to insulate Battery. Comply with local waste disposal regulations.
- Use the following voltage/current when charging.  
Voltage: 4.35V ± 0.03V, current: 1800mA (MAX)

## 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。


## 知的財産権

### 著作権・肖像権

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得もしくは本製品に搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は著作権法により保護されています。従って、第三者が著作権を有する著作物は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上で認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信、転用、頒布などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様は別途著作権者の許諾なく本製品に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせずまたは第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

### 商標

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「トルカ」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「iチャネル」「おサイフケータイ」「かざしてリンク」「WORLD WING」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「マチキャラ」「エリアメール」「iコンシェル」「iスケジュール」「spモード」「dメニュー」および「iチャネル」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「iコンシェル」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック モバイルコミュニケーションズ 株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Microsoft®, Windows®, Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iWnn® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2013 All Rights Reserved.
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2016 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



## その他

- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 Home、Microsoft® Windows® 10 Pro、Microsoft® Windows® 10 Enterpriseの略です。
  - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - (i) 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVCビデオ)記録すること。
  - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、MPEG LAからライセンスを受けた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA、LLCホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

## オープンソースソフトウェア

- 本製品にはGNU General Public License(GPL v2)、GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL v2またはLGPLに従い、複製、頒布及び改変することができます。本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担いただくことを条件として、機器による読取が可能なGPL v2/LGPLが適用されるソースコードの複製物を提供いたします。<お問い合わせ先>  
[pmc-cs@gg.jp](mailto:pmc-cs@gg.jp)  
[panasonic.com](http://panasonic.com)  
また、ソースコードは以下のウェブサイト経由で入手することもできます。  
<http://panasonic.jp/mobile/gpl/>  
なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはお手持ちのパソコンをご利用ください。  
当該ソフトウェアに関する詳細(GPL v2/LGPLの各ライセンス文含む)は、**設定▶その他設定▶端末情報▶法的情報**の手順で確認することができます。
- 本製品には、上記の他、次のソフトウェアが含まれます。
  - Apache License(v.2.0)の下で提供されるApache Software Foundationが開発したソフトウェア
  - The Free Type Project Licenseの下で提供されるソフトウェア
  - ICU License-ICU 1.8.1 and later  
Copyright © 1995-2013 International Business Machines Corporation and others
  - MIT-Licenseの下で提供されるソフトウェア
  - The Independent JPEG Groupによって開発されたソフトウェア
  - その他のオープンソースソフトウェアこれらのソフトウェアに関する詳細(ライセンス文含む)は、**設定▶その他設定▶端末情報▶法的情報**の手順で確認することができます。

## SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

### 1 他社のSIMカードを取り付ける

### 2 電源を入れる

### 3 SIMロック解除コードを入力▶ロック解除

# 索引

## ◆◆◆ ア ◆◆◆

明るさプラス.....	94
アクセスポイントの初期化.....	106
アクセスポイントの設定.....	106
アフターサービス.....	139
アプリケーション.....	108
アプリの通知.....	108
アラーム.....	82
暗証番号.....	99
あんしん応答.....	50
あんしんマネージャー.....	107
あんしんモード.....	123
位置情報.....	103
位置情報付与.....	69
イヤホンマイク.....	104
イルミネーション設定.....	96
ウィジェット.....	109
ウェブブラウザ.....	63
英語ガイドンス.....	53
エラーメッセージ.....	137
遠隔初期化.....	107
遠隔操作設定.....	53
オートGPS.....	107
オープンソースライセンス.....	54, 107
おサイフケータイ.....	78
ロック.....	79
音選択.....	95
音声メモ.....	51, 52
音量.....	95

## ◆◆◆ カ ◆◆◆

海外設定.....	128
外部接続端子.....	27
外部接続端子カバー	
開けたか/閉じた.....	20, 21

各部の名称と機能.....	25
カメラ.....	26, 66
機内モード.....	105
キャッチホン.....	53
記録サイズ.....	69
緊急速報「エリアメール」.....	122
緊急速報「エリアメール」の設定.....	123
緊急通報.....	48
グループ.....	57
ケータイデータお預かりサービス.....	93
圏外.....	32
言語.....	97
公共モード(電源OFF).....	53
公衆電話着信拒否.....	54
国際ダイヤルアシスト.....	127
国際電話.....	49
国際ローミング.....	124
故障かな?と思ったら.....	133
コマンドナビゲーションボタン.....	25

## ◆◆◆ サ ◆◆◆

災害用音声お届けサービス.....	121
災害用伝言板.....	121
再起動.....	41
材質一覧.....	13
サイドボタン設定.....	107
撮影画面.....	67
サブアドレス設定.....	54
時刻設定.....	98
充電.....	38
充電端子.....	27
受話口.....	25
肖像権.....	153
商標.....	153
情報セキュリティ.....	101
照明設定.....	96
使用履歴.....	102
ショートカット.....	45

初期設定	44
スクリーンショット	34
スクリーンセーバー	108
スケジュール	83
ステータスバー	31
ストップウォッチ	90
ストラップ取り付け穴	27
ストレージ	109
スピーカー	26
静止画の撮影	68
世界時計	89
赤外線通信	116
全件受信	117
全件送信	117
1件受信	116
1件送信	117
赤外線ポート	26
セルフタイマー	69
送話口	25
その他音設定	95
ソフトウェア更新	141
◆◆◆ タ ◆◆◆	
タイマー	89
タイムゾーンの自動設定	98
タイムゾーンの選択	98
ダイヤルボタン	25
卓上ホルダ	38
短縮ダイヤル	48
端末暗証番号(暗証番号/パスワード)	99
端末暗証番号設定	100
端末エラー情報送信設定	107
端末情報	110
端末初期化	109
端末の暗号化	101
地図	81
知的財産権	153
着信音量調節	49

着信拒否設定	54
着信/充電ランプ	26
着信設定	54
着信通知	53
着信履歴	51
チャンネル設定	74
著作権	153
通信事業者	125
通知パネル	32
通知不可能着信拒否	54
通話音質	51
通話音量調節	51
通話中着信設定	53
通話中の操作	50
ディスプレイ	25
データ使用量	105
データ転送	115
データ引き継ぎ	91
データローミング	125
デコメール®	60
電源を入れる/切る	40
伝言メモ	52
転送でんわサービス	53
電卓	82
電池バック	37
取り付けかた/取り外しかた	37
電話	47
電話帳	55
電話帳検索	56
電話帳削除	57
電話帳登録	55
電話帳バックアップ/復元	57
電話を受ける	49
電話をかける	47
動画の撮影	68
登録外着信拒否	54
ドコモアプリ管理	107

ドコモアプリパスワード.....	107	プッシュ信号.....	47
ドコモ位置情報.....	107	プレイリスト.....	77
ドコモサービス.....	107	プレフィックス設定.....	54
ドコモメール.....	59	プロフィール.....	34
作成・送信.....	59	ボイスレコーダー.....	88
受信.....	60	防水／防塵性能.....	19
設定.....	61	保証.....	139
ドコモnanoUIMカード.....	35	歩数計.....	87
取り付けかた／取り外しかた.....	35	保存先設定.....	69
トラブルシューティング.....	133	本体メモリ.....	111
取扱説明書.....	93		
トルカ.....	90	◆◆◆ マ ◆◆◆	
		待受画面.....	30, 40
◆◆◆ ナ ◆◆◆		待受画面設定.....	94
ナビゲーション表示.....	29	マナーモード.....	96
ネットワーク暗証番号.....	99	マルチタスク.....	46
ネットワークサービス.....	53	マルチワンタッチ機能.....	30, 107
ネットワークサービス(海外).....	128	マルチワンタッチボタン.....	25, 30
		水抜き.....	23
◆◆◆ ハ ◆◆◆		みまもりメール.....	71
バーコードリーダー.....	69	ミュージック.....	75
バイブレータ設定.....	95	迷惑電話ストップサービス.....	53
背面ディスプレイ.....	26, 33	メインメニュー.....	28
背面ディスプレイ設定.....	94	メール.....	59
バックグラウンド再生.....	76	メール／SMS問い合わせ.....	61
発信者番号通知.....	53	メニュー一覧.....	130
発信設定.....	54	メモ.....	85
発着信・通話設定.....	53	文字サイズ.....	97
バッテリーセーバー.....	102	文字入力.....	41
番号通知お願ひサービス.....	53	文字入力機能.....	97
比吸収率.....	148	モバイルネットワーク.....	106
非通知着信拒否.....	54		
日付設定.....	98	◆◆◆ ヤ ◆◆◆	
日付と時刻の自動設定.....	98	ユーザー補助.....	109
表示設定.....	69	優先ネットワークモード.....	126
フォーカスモード.....	69	輸出管理規制.....	152
不在着信.....	50		
ブックマーク.....	64		



◆◆◆ ラ ◆◆◆	
リアカバー	26
取り付けかた／取り外しかた	21
リダイヤル	51
留守番電話サービス	53
連絡先編集	57
ロック	100

◆◆◆ ワ ◆◆◆	
ワンセグ	73
ワンセグアンテナ	26
ワンセグ視聴	74
ワンッシュオープン	27
ワンッシュオープンボタン	27

◆◆◆ 英数字 ◆◆◆	
ACアダプタ	39
Bluetoothアンテナ	26
Bluetooth通信	118
受信	120
送信	120
dアカウント設定	107
dメニュー	63
DCアダプタ	40
FeliCa	26, 78
FOMAアンテナ	26
GPSアンテナ	26
i コンシェル	80
i チャンネル	81
JANコード	69
LINE	86
LTEアンテナ	26
microSDカード	111
取り付けかた	112
取り外しかた	112
NFC設定	104
PINコード	99

PINロック解除コード	99
P-SQUARE	80
QRコード	69
SAR	148
SDカードバックアップ	91
SIMカード設定	100
SMS	61
設定	62
表示	62
USBデバック切替	107
USBモード	104
VPN	105
Web	63
Wi-Fi	102
Wi-Fiアンテナ	26
WORLD CALL	49
WORLD WING	124
24時間表示	98

## マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

### こんな場合は必ず電源を切りましょう

#### ■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

### こんな場合は公共モードに設定しましょう

#### ■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きま

#### ■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

### 使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなど静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

### プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

## こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

#### ● 公共モード(電源OFF)(P.53)

電話をかかってきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

#### ● 伝言メモ機能(P.52)

電話に出られない場合に、電話をかかってきた相手の用件を録音します。

#### ● バイブレータ(P.95)

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

#### ● マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー(P.96)

ボタン確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します(マナーモード・スーパーサイレント)。

マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます(オリジナルマナー)。

※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス(P.53)、転送でんわサービス(P.53)などのオプションサービスが利用できます。

## 携帯電話の回収・リサイクル



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)

## オンラインでの各種手続き・ご契約内容の確認など

本端末から   メニュー ▶ Web ▶ dメニュー・検索 ▶ Mydocomo (お客様サポート) ▶ ドコモオンライン手続き

パソコンから   My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>) ▶ 「ドコモオンライン手続き」内の項目を選択

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「ID/パスワード」が必要です。

## 海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

### ■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示   **-81-3-6832-6600（無料）**

（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

受付時間 24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

### ■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話  
アクセス番号   **-81-3-6832-6600（有料）**



※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

総合お問い合わせ先  
＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話からの場合      ■一般電話などからの場合

 (局番なしの) **151** (無料)       **0120-800-000**

※一般電話などからはご利用になれません。      ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。



受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。  
ドコモホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合      ■一般電話などからの場合

 (局番なしの) **113** (無料)       **0120-800-000**

※一般電話などからはご利用になれません。      ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社



Li-ion 00



キケン!  
水ぬれ充電

'16.10(第1版)  
PXQP1022ZA/J1  
F0916-0